学びの杜・学術コース

依田　理恵子・浅井　珠未

「学びの杜・学術コース」は、名古屋大学の教員を中心として、学問研究の最前線で活躍する研究者たちが、高校生を対象に、それぞれの学問領域における知の探究の成果や方法、スタイルなどについてわかりやすく解説し、知の探究の厳しさと愉しさを体験してもらう目的で開設された本格的な「学術的な探究講座」で、2005年の開始から13年目を迎えた。大学レベルの高度な「学び」を体験することにより、高校生が各自の適性について、また興味や関心について育み、将来のヴィジョンを広げたり、キャリア・デザインへと発展させたりできるように企画されている。

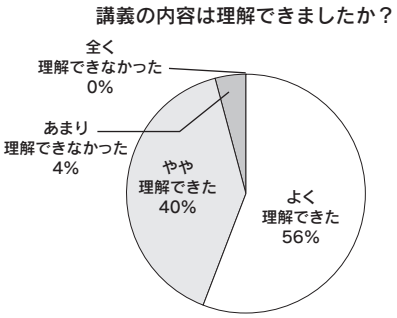
今年度は昨年同様、物理学探究講座、生命科学探究講座、地球市民学探究講座、チーム医療（多職種連携医療）探究講座、インフラ工学探究講座、人文学探究講座、電子工学探究講座、人間発達科学探究講座、視覚文化探究講座の９講座が開講された。以下に、それぞれの講座後に行った受講者アンケートの結果を記す。なお、物理学探究講座、生命科学探究講座、地球市民学探究講座の３講座は、名古屋大学教育学部附属高等学校のSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）授業の一般公開として開講されている。

●各講座のアンケート結果のまとめ●

＜物理学探究講座＞　受講者：25名

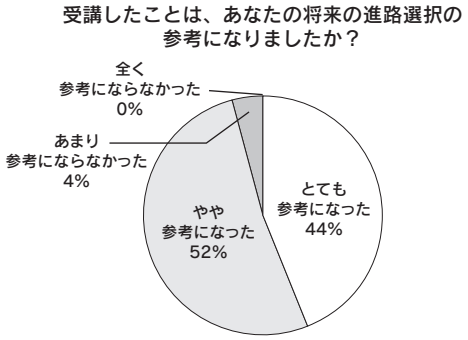
今年のテーマは「観測的宇宙論」であり、名古屋大学大学院特任教授でチリ共和国に電波望遠鏡を設置して観測していることで国際的に知られる福井康雄教授（理学部・理学研究科/電波天文学）が担当した。

○講座内容の理解の深まりについて



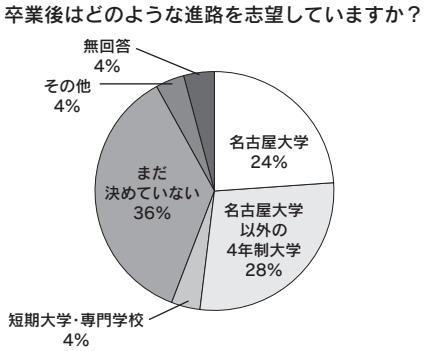
講座内容の理解については、96％の受講者が「よく解できた」「やや理解できた」と回答した。

○将来の進路を選択する上での影響について



今回受講した事は、高校卒業後の進路選択をする上で参考になったかについては、96％の受講者が「とても参考になった」「やや参考になった」と回答した。

○志望する進路



志望する進路は、受講者の24％が「名古屋大学」、28％が「名古屋大学以外の４年制大学」と回答した。「まだ決めていない」という回答は36％だった。

○受講者の感想（一部抜粋）

- 宇宙に興味があったので、宇宙に対して地球と人類の小ささを知って、とても面白かった。そして意外だった。
- 宇宙のスケールの大きさに、その測定の方法はとても面白かった。特に月との距離を測定するコーナーキューブはアポロの頃の時代の人が開発したことに驚いた。
- 先生が積極的に質問に答えてくださり、とても面白く参考になる内容でした。
- 先生が定期的に質問を聞いて下さり、やりやすかった。僕自身、相対論プロジェクトに所属しているので、今回聞いた話を生かして研究を進めていきたいと思った。
- 自分が知識だけで納得していて、原因などを知らないことがたくさんあり、自分がいかに自然について、何の疑問を持たずに生きているんだなと思った。
- 宇宙の壮大さや具体的な研究内容を知ることができてよかった。人類は空間的、時間的のどちらの観点から見ても非常に小さな存在だと分かった。
- コーナーキューブの仕組みを聞いて、とても興味をもった。平面的なものではなく、立体的な構造も知ることができてよかった。潮の満ち引きのところを聞いているうちに、どんどん月との関係性が自分の頭の中で繋がっていく感覚が味わえた。
- 授業は全体的に話をきく感じで、話は先生はその場で考えて話しているということに驚きまし

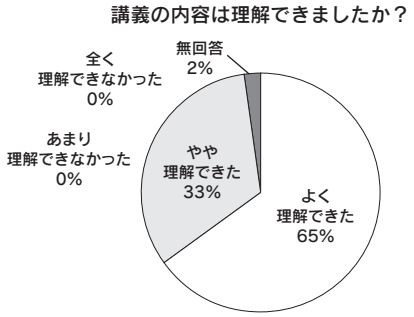
た。内容については知っていることもありましたが、知らなかったこともあり、また月による地球への影響などの仕組みは難しかったです。物理学がこういうものだということを知ることができて、良かったと思いました。

- 月の表面に置いた反射板にレーザーを発射して、時間を計測し月と地球の距離が分かるだなんて、すごいと思いました。並の人はそんなことを考え、提案しないでしょう。
- 学校の授業では習わないような宇宙の細かいところについて知ることができて、とても面白かったです。大きな宇宙のことを考えると人間はとても小さい、自分自身の人生をデザインするという言葉を聞いて、これから人生を歩んでいく上で心にとどめておきたい言葉だと思った。

＜生命科学探究講座＞　受講者：58名

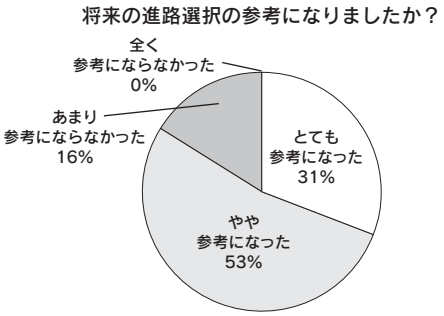
生物や植物の多様性、鉱物と生物、人類進化史、動物生産、消化のメカニズムなど、多様なテーマで生命科学について学ぶ講座である。

○講座内容の理解の深まりについて



講座内容の理解については、98%の受講者が「よく解できた」「やや理解できた」と回答した。

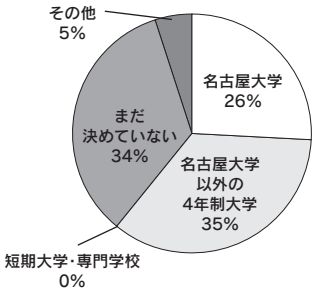
○将来の進路を選択する上での影響について



今回受講した事は、高校卒業後の進路選択をする上で参考になったかについては、全体の84%の受講者が「とても参考になった」「やや参考になった」と回答した。

○志望する進路

卒業後はどのような進路を志望していますか？



志望する進路については、受講者の26％が「名古屋大学」、35％が「名古屋大学以外の４年制大学」と回答した。また34％が「まだ決めていない」と回答した。

○受講者の感想（一部抜粋）

- 全体的にみんなで考えたり、実際に触ったりする講座が多く、楽しく興味を持って受講することができた。また、生命科学の中でもすごく広いと感じ、様々な内容の講座があったので、自分の興味や進路を探すのに有効だったと思う。
- 今回の生命科学のこれらの授業を受け、様々な知識をつけることができた。改めて１つの研究にも幅広い知識が必要であるということを再認識した。高校での学びと大学での学びの違い（難しさや研究する楽しさなど）を今回のこの10回の授業で学ぶことができた。大学と関わることで、学問についてより深く学べ、知識をつけられるので、これからも大学とのかかわりのあるイベントに参加していきたいと思った。
- 全体を通して、古生代のすごく昔の生物の話から、最近見つかった生物の話、ホタル等が意外と古代からいることを知れて面白かった。それだけでなく、その地球の基盤を担ってきた生物・植物がどのように生まれるのかのメカニズムを知れてよかった。
- 大学の研究というのは、もとから分かっていることだけでなく、新しい初めての発見ができるので、すごく面白そうだなと思いました。将来について深く考えようと思いました。
- 海外と連携している研究も多く、英語の大切さを感じた。地学、物理学、生物学は別々に習うけど、結構つなげて使うことが多いことが分かった。
- 生物というひとくくりでも、様々な分野とその道の研究者がいて、まだ私の知らない世界が沢山あると知った。また今まで学んだ様々なことが繋がる喜びを知れた。私も色々なことを考えて、自分の将来などを考えようと思った。ありがとうございました。
- スライドを使った授業が多かったので、見やすくて要点も分かりやすかったです。世界の環境の現状や家畜などの受けている仕打ちなどがとても印象に残りました。
- 普段に生活に関係していることを多く知れたことは、非常によい機会となりました。特に中でも生態系についての講義が印象に残っています。自分も生態系に含まれる一動物として、考えさせられることが非常に多くありました。今回の講義の反省点としては、疑問を多く持つことはできたものの、ワークシートを書くだけで、自分で発言して聞くことができなかったことです。今後は自分でしっかりと発言できるように、日々鍛錬をし、次に同じような機会があったときに自信をもって発言できるようにしたいです。

- 私たちの世界というのは、まだまだ分かっていないことも多く、分かっていないことを解明する為に沢山の人が色々なアプローチをしていることがわかった。私たちの日常生活で当たり前に起こっていることも実はわかっていないことが多いことを知った。何が私に無い知識で、何が人々に無い知識なのかをしるために、色々なことを勉強してみたいと思った。
- 10講義あったなかで、どの授業もとても興味深いものばかりで面白かったです。大学でもいろんなことについて広く学ぶのだと分かりました。
- 今まで全く知らなかったことや、あまり興味のなかったことにも目を向けるようになった。研究所職も楽しそうだと思った。自分の知らないことがたくさんあるなと思った。
- 植物の性細胞の講義がとてもおもしろく印象に残った。そして植物の細胞の中にはまだまだ研究されていなかったり、分かっていないことが沢山あると知ったので、自分が研究してみたいと思った。また骨格の授業もとても面白かったし、もっと調べてみたいと思った。
- 数時間、１つのことを集中して学ぶことが楽しかった。同じ生命科学の分野でも、とても幅広く、私ももう少し広い視野をもって将来を見据えたいと思った。
- 生物の話がとても面白かったです。先生方のお話はとても耳に入ってきました。難しいことも分かりやすく、また楽しめるように講義していただいたので、本当に楽しかったです。ありがとうございました。
- 話を聞くだけでなく、実物に触れたり顕微鏡で見たりできたことが面白かった。私は今まで特に植物が好きで、興味を持っていたが、この講座を受講して、植物だけでなく、動物や地質等にも興味が出たので、この講座は私にとって有意義なものだったと思う。今回生まれた興味を無駄にしないために、これらについての知識や理解を深め、今後の進路選択や生活に役立てていきたいと思った。
- 食べ物が消化･吸収されるメカニズムについて知ったとき、同じ食べ物を同じ量だけ食べても、夜に食べたり、ダラダラ食べたほうが太りやすいということを聞いたときに不思議に思いました。またアフリカで生まれた人類が日本人になるまでの過程を知れたことは面白かったです。絶滅した生物の骨の復元方法が骨の可動域から考えて、そこから筋肉の付き方や歩き方を予測できることがすごいと思いました。
- 講座の内容に興味をもったので参加したのですが、参加して本当に良かったと思いました。10個の講座全てが面白くて、時間は長かったけど、退屈せずに学ぶことが出来ました。身近な話題から世界全体について考えることができることが分かり、もって身のまわりを見て、疑問を解決していきたいと思います。
- あまり変化していると思ったことはないけれど、植物はものすごいスピードで進化しているのだと思いました。私の学校には沢山の植物がありので、今いる植物の観察を頑張りたいです。これからは中途半端に考えるのではなく、これからのことを見据えて考えようと思いました。
- 中途半端に薬を利用してしまうと、耐性害虫、耐性菌が発生してしまい、より回復を困難にしてしまうことが分かり、すごく興味深かったです。
- タンパク質をつくる上で、大腸菌を使うことや、レーザーを使うことなど、様々なものを利用した実験の手法等が面白かったです。高校ではまだ習っていない分野のことだったけど、中学校の知識までのことで、よく理解することができました。身近なことに感じられて、より植物

に興味を持つことができました。助細胞にある誘引物質をなぜ「ルアー」と名づけたのかが、疑問に思いまいた。

- それぞれに細胞にキャラクターが設定されていて、理解しやすかったし、物語があって面白かったです。ルアーの存在は教科書に載っていたので知っていましたが、その発見までに様々な苦労があったということは初めて師って、興味深いと思いました。植物の受精に子孫を残すための様々な仕組みがあるというのも、新しい発見で面白かったです。植物の受精をよく理解することができて、とても勉強になりました。
- 助細胞が２つあることによって、受精が失敗したときにもう一度受精させることができるというお話がありましたが、２度失敗したときはどうなるのだろうと疑問を持ちました。今日の講義を聞いて、植物の受精の仕組みを深く理解することができました。将来、新種を作り、貧しい国や環境が悪い国でも育つ作物を作りたいので、今日のお話を聞いて、名古屋大学で植物の遺伝子や受精について学びたいと、改めて思いました。
- 「発光生物」と「動物生産」で、同じ生物学についての内容だけれど、それぞれ理学、農学的な視点から考えることができてとても良かった。もし来年もあるのであれば、もっと様々な分野の講義を受講してみたい。
- 同じ学部でも科によってやることがまた大きく違うことが分かったので、来年オープンキャンパスなどに参加し、具体的に決めようと思った。
- 先生のジョークも面白く、楽しく聞けました。ホタルの光は本来はコミュニケーションが目的ではなく、威嚇として使われていたのではないかというところに驚きました。光ることによって敵にみつかりやすくなるというデメリットはないのかなと疑問に思いました。
- 私は単に生きる生き物が好きだからこの講座に来たけれど、光理由や何によって光っているのか、もっと知りたいなと思った。オキアミとか、サクラエビとかが光るとは思っていなかったので、驚いた。
- アカハライモリがすごく気になった。コラーゲンなどのものがとくに効果がないことに驚いた。
- ポール・ワイスの思考実験がすごく不思議でした。正解が定義しにくい、出来なそうだなと思います。ダイエット情報はあまり信用していない方でしたが、今回の講義を聞いて、何の根拠もないのに、ダイエット食品とか、健康食品を名乗っているんだなと思い、笑えました。
- モノをミクロで考えると、今まで当たり前だと思っていたことも、また違ったふうに見えて、面白いなと思いました。また普段の生活の中には化学反応で起こっていることが沢山あり、理科が深く関わっていることを改めて知ることができて、興味深く感じ、大学で学びたいと思う気持ちが強まりました。
- いままで高校で考えてきた方法と全然違う考え方等に出会って面白かった。易しい導入から始まったので、入りやすかった。アカハライモリ、面白いなと思った。もっと知りたいと思った。飼ってみたり調べてみようと思う。ダイエットが聞かないものが多いというのも驚きだった。科学的に考えたら、自分の知識で、確かにと思うことも多かった。身の回りのことをそうやって考えるのも大事だと思った。
- アカハライモリのお話が特に印象に残りました。自分でも調べてみたいと思います。ダイエットの情報はほとんど間違っていることを知って、それらを信じ込んでいる現代はとても怖いと

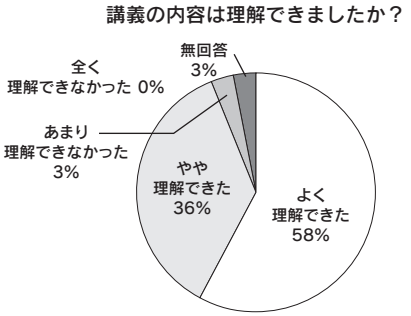
思いました。

- 大学の先生は皆さん研究で行った実験の考察のレベルが本当に高いと思います。私も色々な物事に関連を見つけて考えていきたいと思いました。理系に進んでみようかなと思いました。
- 私たちの世界というのは、まだまだ分かっていないことも多く、分かっていないことを解明する為に沢山の人が色々なアプローチをしていることがわかった。私たちの日常生活で当たり前に起こっていることも実はわかっていないことが多いことを知った。何が私に無い知識で、何が人々に無い知識なのかをしるために、色々なことを勉強してみたいと思った。

＜地球市民学探究講座＞　受講者：33名

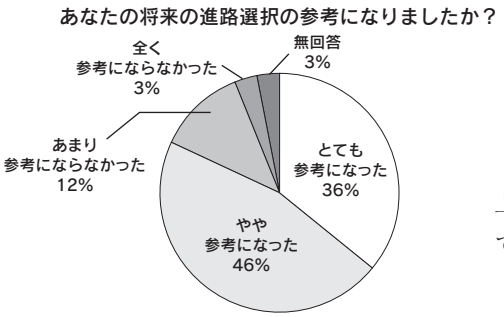
偏見・差別、環境、病気、ジェンダー、メディアリテラシーなど、グローバル化の中の様々な問題を取り上げながら異文化理解の方法や地球市民としてのありかたについて考える講座である。

○講座内容の理解の深まりについて



講座内容の理解については、94％の受講者が「よく解できた」「やや理解できた」と回答し

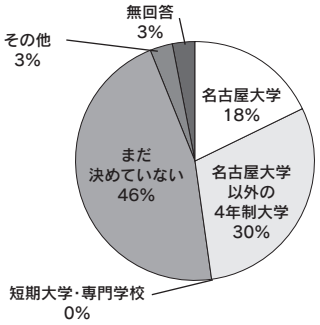
○将来の進路を選択する上での影響につい



今回受講した事は、高校卒業後の進路選択をする上で参考になったかについては､82％の受講者が｢とても参考になった｣｢やや参考になった｣と回答した。

○志望する進路

卒業後はどのような進路を志望していますか？



志望する進路については、受講者の18%が「名古屋大学」、30%が「名古屋大学以外の４年制大学」と回答した。また「まだ決めていない」が46%であった。

○受講者の感想（一部抜粋）

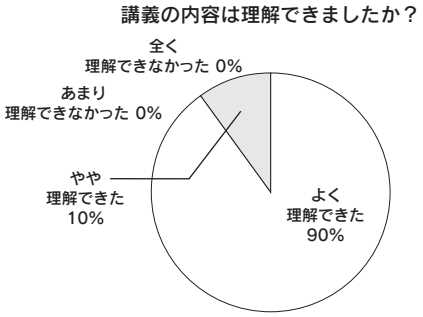
- どの講義も興味深く、自分の幅の広がる内容だった。新聞者が新聞を読んでもらうために他にどんな具体的な活動をやっているのか気になる。
- 人種差別のところが一番興味深かった。たくさんのことを知ることができ、とてもためになった。
- 10講座分、すべて参加してみて、色々な分野で研究している内容や、自分の知らなかった内容を知ることができたので、参加してよかったと思う。
- 私が受けた講義の中で一番印象に残っているのは、差別と偏見についての講義です。差別と偏見とは違うことであるということは知らなかったので、これから自分がどのように物事を批判するべきか考えるきっかけになったと思います。
- グループワークなどが色々あって面白かった。もっと色々なことを学んでみたいと思った。
- 10回の講義のうち、歴史に関する講義は前半に固まっているという印象だったけれど、後半の講義にも歴史に関することがいろいろあった。この学びの杜で直接歴史と関わりがない分野でも、少しずつ歴史と関わってくることがあったので、これからの勉強に生かしていきたい。
- 様々な分野の専門家から興味深いお話を聞けてとても良かった。今後の進路選択の参考になったと思う。
- 色々なことに疑うことを忘れずにいきたいです。自分の思い込みが多いことにも気が付きました。とても面白かったです。ありがとうございました。
- 医学からはじまり、海外のこと、心理学のこと等、さまざまなことを知れました。この講座を通して自分の視野が広まったと思いました。今後の進路選択に生かしていきます。
- 改めて、非常に興味の湧く講義が多くて、第２回のモンゴルの講座に居れなくて何だかくやしかったです。昨年は物理学探究講座を受講しましたが、内容がよく分からなかった。しかし今回は身近なことが多く、非常に理解しやすく聞き進められました。最後に講義を開いてくださった先生方、もう一度感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。
- モンゴル社会の歴史、政治などについて講義していた先生が、質問に答える際、モンゴル国内のことだけでなく、国際的に見て似ている国の例を挙げたり、他国との関係についても言及したりして、モンゴルだけでなく、世界全体の知識があることに驚いた。

- 高校の間にモンゴルに行きたいなと思っていて、モンゴルの生活や、日本と変わっているところ、歴史を知れてよかったです。モンゴル語も少し勉強したので、もっとモンゴルのことを知りたいなと思いました。また特に印象に残っているところは、昔のバッハやベートーベンなどが首を隠しているシャツを着ているのですが、なぜかと思ったこともなかったけど、それは感染症のせいで、隠していると知っておもしろいなと思いました。考えもしなかったことを知れるととても面白いし、それが沢山知れたので、充実した授業をおくれました。
- もともと将来の職業選択のために受講したが、今回の講義では世界的な観点での医学史についての理解を深めることができた。難しすぎる内容で、理解できない点もあったが、それを知れるようになりたいという探究心のモチベーションになったと思う。
- 新聞を作るには多くのチェックがあり、面白いと思いました。たくさんの部があり、すごかったです。自立した大人になるためには、自分の考えをしっかりと持ち、そして未来にいけることはすごかったです。
- インターネットを使って調べると、一つの情報しか分からないけど、新聞を使えばたくさんの情報を知ることができるから新聞はいいなと思った。僕の家でも新聞をとっているから、少しでも新聞を見てみようと思った。
- 今まであまり新聞を読んでこず、ほとんどがテレビでニュースを見ていました。しかし今回受講してみて、新聞の見方を知り、より興味を持ちました。これを機に新聞をしっかり読むのもいいなと感じました。
- 自分の名前の星があるなんてすごいなと思った。アメリカの新聞の無い町での問題。情報を伝えることで民主政治を支えているとは考えたことが無かった。新聞のすごさを改めて知りました。三日坊主にならないで、新聞を読み続けてみようと思います。
- 私は地球市民学探究講座の中でも、「人種偏見・差別の心理学」の講義のみ受講しました。発信する立場として仕方ないと思うけれど、偏った考え方をもっているなあと感じました。先生と同じで、偏見を持っていることは自然だと思うし、考え方は様々で自由だけど、私をそれを表に出すことにより影響を考えられる、伝え方を考えられる人であいりたいと改めて思いました。心理学を学びたいという意欲がより増しました。

＜チーム医療（多職種連携医療）探究講座＞　受講者：21名

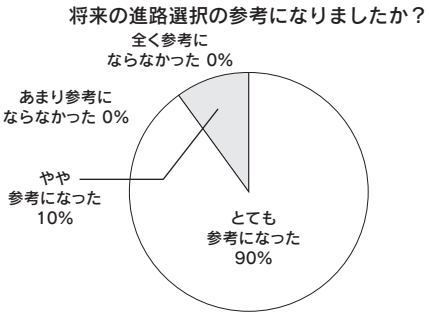
我が国では超高齢化社会を迎え、地域医療現場にも時代にあった新たなシステムや考え方が求められている。そのひとつが「チーム医療（多職種連携医療）」である。医療機関だけでなく地域社会で在宅医療、訪問看護、服薬指導、リハビリ、介護、福祉から社会活動までをつなげること、すなわち、多職種協働によるチーム医療の提供により、一人ひとりの住民が地域社会で幸せに暮らせることを目指す「チーム医療（多職種連携医療）」について学ぶ講座である。

○講座内容の理解の深まりについて



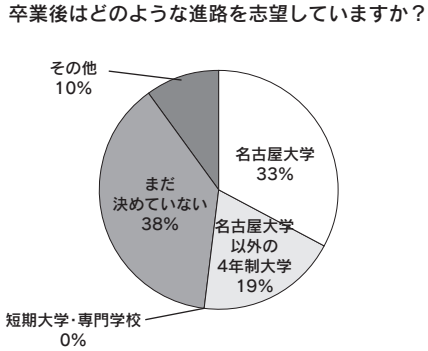
講座内容の理解については､100％の受講者が「よく解できた」「やや理解できた」と回答した。

○将来の進路を選択する上での影響について



今回受講した事は、高校卒業後の進路選択をする上で参考になったかについては、100％の受講者が「とても参考になった」「やや参考になった」と回答した。

○志望する進路



志望する進路は33％が「名古屋大学｣､19％が「名古屋大学以外の４年制大学」と回答した。「まだ決めていない」は38％だった。本センターの担当者がワークショップのサポートを行うために実際にこの講義に参加したが、医学、薬学などの学科を志望する受講者が多かった。33％の受講者が｢名古屋大学｣と回答したことから、本講座が名古屋大学医学部を体験する良い機会であり、また医学部以外を志望する高校生にとっては、医療関係の講義を体験する良い機会であったと考えられる。

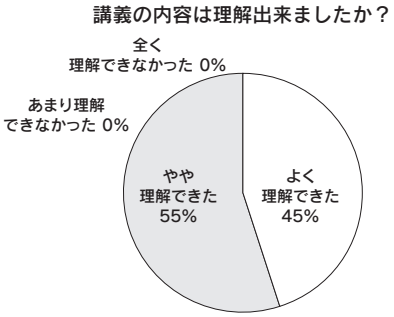
○受講者の感想（一部抜粋）

- チームの雰囲気もよく、すごく楽しく参加できました。体験できないことができて、すごくいい経験になったと思います。
- 連携して仕事をすることの需要さを知れた。今後沢山の職種を知りたいと思った。
- 手術器具の体験ができて、とても楽しかったです。
- 最近の手術方法は変わっていることを学んだことが印象に残りました。メスを使う手術が少なくなっていることは初めて知ったので、驚きました。
- 実際にシミュレーション器械をやってみて、感覚を体験することができたし、医療の面白さがわかった。最先端の器械には止血しながら血管を切ることができることにとても驚いた。ゲームで医療には沢山の人たちが関わっていることが、より一層理解できた。
- １人で参加し、不安だったのですが、チーム医療講座ということもあり、同じグループ内の仲間やシミュレーションの場面で沢山触れ合えたこともあって、とてもいい時間を過ごすことができました。
- クイズで新しい知識を得ることができ、シミュレーションで医学生が行うことが出来、Ipegでコミュニケーションをとることができ、貴重な体験となりました。
- 外科医がメスをあまり使わないということがとても印象に残った。チームでゲームをするときの雰囲気がよくて楽しかった。なにより実際に機械に触れたので、一番楽しかったし、嬉しかった。
- 知らない人たちとのコミュニケーションができてよかった。
- 手術やゲームがとてもためになりました。クリップなしで手術できるという今の技術に驚きました。また１つの病気でも、沢山の職業の人が関わることもわかり、とても濃い３時間でした。
- 実際に医師が使うような機器を体験できてとても楽しかった。
- クイズによって交流を深めたり、楽しんだりして良かったと思った。治療には沢山の職種が関わっていることがよく分かった。
- 似たような進路の人と話せて楽しかったです。機器の体験もできて良かったです。
- 手元を見ずに物を操作することがとても難しかった。医療技術のすごさに驚いた。様々な職種の人々が協力することの大切さを学べた。

＜インフラ工学探究講座＞　受講者：９名

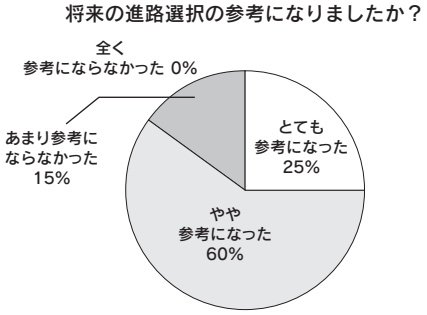
道路・鉄道・上下水道・電力施設・通信施設・堤防・港湾施設・防災施設などのインフラの役割を、「橋の老朽化と対策」「津波のメカニズムと予測」「液状化の発生と対策」の３つのテーマを通して、近年頻発する地震などに対する防災・減災対策と、社会問題になりつつある老朽化の観点から学ぶ講座である。

○講座内容の理解の深まりについて



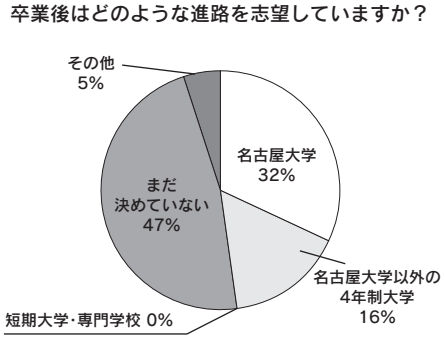
講座内容の理解については、100％の受講者が「よく解できた」「やや理解できた」と回答した。

○将来の進路を選択する上での影響について



今回受講した事は、高校卒業後の進路選択をする上で参考になったかについては、85％の受講者が「とても参考になった。」「やや参考になった」と回答した。

○志望する進路



志望する進路については、受講者の32％が「名古屋大学」、16％が「名古屋大学以外の４年制大学」と回答した。また、47％が「まだ決めていない」と回答した。

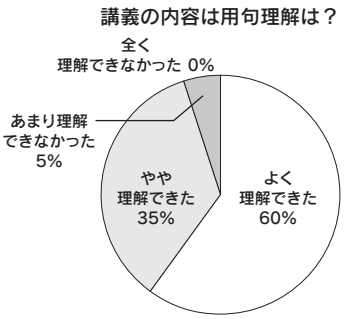
○受講者の感想（一部抜粋）

- 津波や地震などの災害に興味が少しあるので、大学で専門的な話を聞くことができ、とても参考になりました。ありがとうございました。
- コンクリートを長く持たせることは大変難しいことであることを知った。同時に木造建築の仕組みについても調べていきたいと思った。
- オープンキャンパスで詳しく見学できなかったNU-BRIDGEの細部まで見れたこと。液状化の原理を知れたこと。将来来るとされている南海トラフの地震、恐ろしさも知れた。
- 橋の見学が良かった。地震の被害の恐ろしさが分かった。野田先生の講座が面白くて、「土質」に興味を持てた。減災館の体験がすべてよかったので、今後の学習に役立てていきたい。
- 実際の橋を展示したところの見学は、初体験でワクワクしました。
- 地震再現のインパクトがすごかった。
- 普段気にも留めないところに危険が潜んでいることがよく分かった。橋の点検のやり方が理解できた。津波の仕組みと液状化の講義も興味深く、来年も参加したいと思った。
- ３コマ目は本当にためになったし、楽しかったです。さすが名大だなと思うほど、設備が整っていて、ワクワクしました。
- 今回これから起こるであろう、大きな災害である地震、津波、液状化について、それらによる被害、実例、対策を聞いた。自分たちでも対策することができると感じられ、危機感を覚えた。特に面白かったことは、実際の橋を見て、自分のしらない調査の方法を聞けたことである。

＜人文学探究講座＞　受講者６名

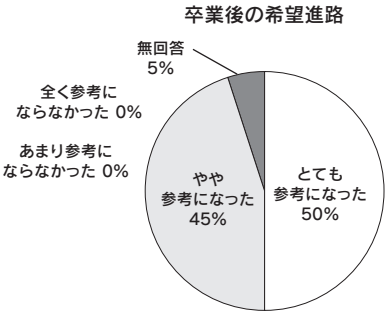
人間のさまざまな営みを通して人間について考える学問が人文学である。過去の、そして現在の人間がどういう存在であるかを知ることは未来に向けてとても大切なことである。「怨霊のない中国」「現代日本の呪術・宗教・スピリチュアリティ」「ナイルのほとりでギリシア文化に出会う」「ムーミンの舞台でフィンランド文化を考える」の４つの講義を通して、人文学の広い世界を知る講座である。

○講座内容の理解の深まりについて



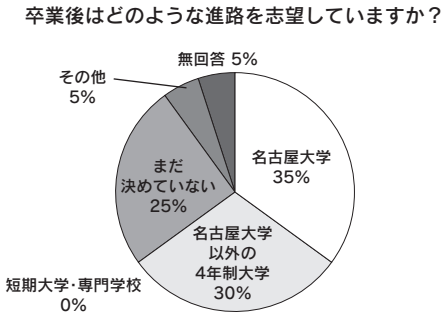
講座内容の理解については、95％の受講者が「よく解できた」「やや理解できた」と回答した。

○将来の進路を選択する上での影響について



今回受講した事は、高校卒業後の進路選択をする上で参考になったかについては、95％の受講者が「とても参考になった。」「やや参考になった」と回答した。

○志望する進路



志望する進路については、受講者の35％が「名古屋大学」、30％が「名古屋大学以外の４年制大学」と回答した。

○受講者の感想（一部抜粋）

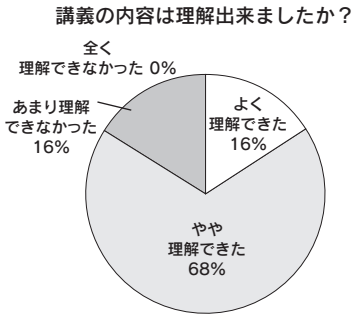
- 宗教の流れを詳しく説明されていて、とても面白かったです。講義の先生の自論も含まれていて、参考になりました。いまの日本人がオウム事件など、宗教的なテロによって宗教アレルギーが広がったというのは、とても興味深かったです。
- 教科書を読んでいるだけではスルーしてしまいそうな事柄にも、その時代や地方の人々の考え方や背景などが隠されており、「歴史は深い」という言葉の意味を実感できました。常に「なぜ」かの疑問を持つことで、学びが深まると分かりました。また国によって言語のあり方はそれぞれで、文化を発展させていることも知りました。
- 高校の授業ではなかなか味わうことのできない多角度な視点による授業を受けることができ、非常に楽しく学ぶことができた。また今までどのような学問なのかイマイチ分からなかった学科を、ほんの一端だが学ぶことが出来て、新たな興味深い学問の発見に繋がったことが、今回の講座の一番の収穫になった。
- 高校で学習した内容より、より専門性のある講座を体験でき、楽しかった。また先生方が外国語を日常的に使っているということを感じ、留学経験があり、英語以外の言語にも興味を持つ私は魅力を感じました。日本と世界を多様な面から学べて、とても楽しかったです。また専門的に学ぶことで、自分の考えと真逆の考えが出てきたり、自分の考えを深める内容が多く、大学で専門的に自分の興味を考えていくことに対して、さらに魅力を感じました。ありがとうございました。

- 「言語種」という権利がとても重要であることに気付きました。フィンランド語というのも最近作られた言語だと知り、そのため沢山の伝統がなくて、まだまだ歴史が浅いことに驚きました。他の国でも地域によって使用言語が違うことが深刻な問題だと気付き、近い将来、改善策があればいいなと思いました。
- 文学部は文芸作品や言語について学んでいるというイメージがあったが、実際はこれまで社会科で触れたようなことも学んでいるのだと知れて、参考になった。中学・高校の授業で教わったことと、大学で研究することは焦点が違うということは知らなかった。距離が近い国でも大きく異なる思想があったり、一見関係が薄そうな地域でも交流があったりと、想像していたことと違って、興味深かった。人々が非科学的なことを信じる原因には経済や政治などの不安定があると聞いて、納得した。
- 高校での教科書の上だけでの勉強ではなく、自分から学ぶ歴史はとても楽しそうだなと思いました。フィンランドの言葉を学ぶと、スウェーデンとの関係やフィンランドの歴史も学べるのだなと思いました。日本の生活が普通だと考えずに、世界に目を向けてみたいと思いました。
- 自然（ナイル川）を上手に使って運搬を行っていて、感心しました。なぜ当時の人々はアンフォラにスタンプをつけたのでしょうか。自分が思った以上に未だに言語の壁が厚いことが分かりました
- 宗教が人に与える影響の大きさに驚いた。文化は国とのかかわり、宗教などが絡み合ってできるのだなと感じた。いろいろな国のこと、歴史のことを知ることができてよかった。
- 昨年のニュースでムーミンの問題があったのは知っていたが、その話からここまで深く考えることができるとは知らなかった。普段日本にいて外語について触れることが少なかったので、いろんな国について触れることができて面白かった。
- ただ説明するだけでなく、興味があることと関連していたので、面白いと思った。もともと外国の文化について知りたいと思っていたので、今回の講座を受けてより興味が持てた。これからはインターネットや図書館等で調べて、もっと知識を得たいと思った。また実際に外国に行ってみたいと思った。
- 日本では何か少数言語の人々のためにしていることがあるのかが気になりました。世界にはベルギーのように国民の言語が半分半分になっている国もあると知って驚きました。これからはもっと外国人が日本に増えてくると思うから、何か新たな政策がとられていくのが楽しみです。
- 日本は政治と宗教を分離できていないという話や、再魔術化の話を聞いて、とても興味を持った。ベルギーはフランス語とオランダ語が半々で話していると聞いて驚いた。
- ４つの講義を受けてみて、それぞれの学科の違いがよく分かりました。どの講義も、聞くと興味が湧くものばかりで、今まで自分の関心が向かなかったものについても考えることができました。これから進路について考える上で、また日常生活を送る上でも、役立つことを沢山学ぶことが出来ました。身近なものを話題にしたものから、高校の授業では習わない高度なものまで、様々なことに目を向けて考えることの大事さ、面白さが分かりました。１限では怨霊について、４限では文化について学ぶ中で、今まで知らない中国やフィンランドの社会背景についても考えました。４限では、映像を取り入れていて分かりやすかったです。普段日本で暮らしているだけでは考えることがあまりない言語学について学べて、とても興味深かったです。

＜コンピュータ・電子工学探究講座＞　受講者：19名

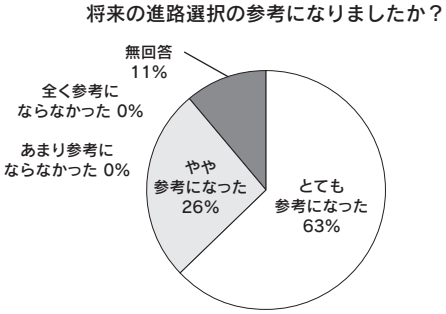
「Raspberry Piの魅力：遊びからAI、IoTへ」コンピュータ+電子回路で遊ぶ体験を通して、その先にあるデータサイエンティストへの道についても学ぶ講座である。

○講座内容の理解の深まりについて



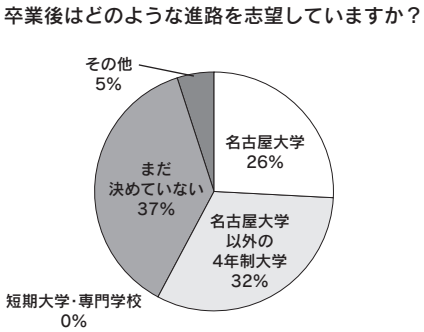
講座内容の理解については、84％の受講者が「よく解できた」「やや理解できた」と回答した。

○将来の進路を選択する上での影響について



今回受講した事は、高校卒業後の進路選択をする上で参考になったかについては、89％の受講者が「とても参考になった。」「やや参考になった」と回答した。

○志望する進路



志望する進路については、受講者の26％が「名古屋大学」と回答した。また、「まだ決めていない」は37％であった。

○受講者の感想（一部抜粋）

- プログラミングなどはほとんどやったことがなかったので、勉強になりました。
- 音声認識が成功したときに、何ともいえない胸の高鳴りがしました。無限ループをカウントダ

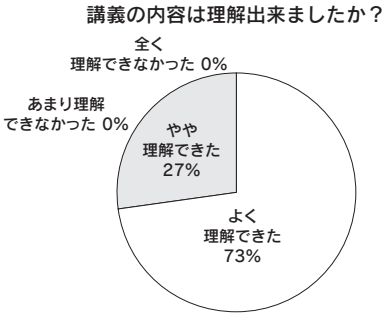
ウンで使用したとき、本当に無限に続くので感動しました。時間を掛けて組んだプログラムが動いてくれたときの達成感は素晴らしかったです。スマホから命令を出して家電を扱うことができるらしいので、挑戦してみたいと思います。

- 自分で作ったものが思うように動いたときの達成感がとても良かったです。ラズパイと話すプログラムはほとんど分からなかったので、そういう難しいものも分かるようになりたいです。実際に身体を動かしたので、眠たくならなかったです。
- 最初は“すごく難しそうだけど気になるなあ”と思い、応募しました。情報系を考えていて、あまりプログラミングもしたことがなかったので、今回ガッツリできて良かったです。今年初めてこのことを知って参加したので、昨年から参加すればよかったと思うくらい良かったです。本当にありがとうございました。
- 自分でかいたプログラムで動かすことができて、楽しかった。でも自分で全部かくのは難しそうだなと思った。
- 二人一組だったので、一緒に考えながら進められたのが面白かった。プログラムはキチンとしていないと思ったように動いてくれないが、それぞれルールを守ればうまく動く点で、しっかり学べばそれだけ分かりやすく結果が見える。価値ある体験ができて嬉しく思う。また来れるなら、このような企画に参加していきたい。
- プログラミングは複雑でとても難しかったですが、先生や大学院生が分かりやすく教えて下さったので、とても楽しかったです。また音声を認識してパネルに文字が出たことはとても驚きました。
- 音声認識をしてもらえたことに驚きました。指示をするとき、コマンドをあてはめて打ち込み、Raspberry Piを動かせたのが面白かったです。
- 二人一組であったので、協力して考えて進めることでき、面白かった。自分たちが作ったプログラムが思うように行かないときに、どこが違っているのか探すのが大変であった。プログラミングのルール等を守れば思うように動くので、もう少し学んだあとで、自分でもラズパイを使ってプログラミングをしてみたい。今日はとても価値のあるものでした。ありがとうございました。
- 夢ナビの講義でラズベリーパイを買うべきか迷っていたので、講義の内容がラズベリーパイを使ったものだったので、非常に参考になりました。またコンピュータは簡単に扱えるものだと今まで思っていましたが、案外難しく、プログラミングは初めて体験しました。今日のことをこれからの進路に役立てていきたいと思いました。

＜視覚文化探究講座＞　受講者：12名

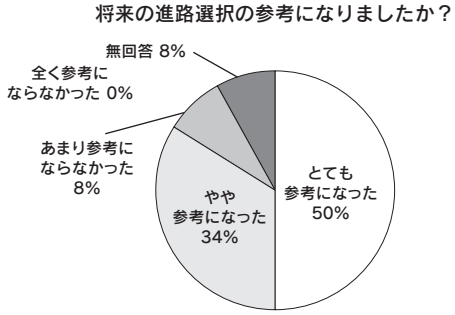
現代は視覚情報の時代である。写真、映像、アニメ、ゲーム、TV、インターネット、SNSと、とんでもない量の情報がひっきりなしに目に飛び込んでくる。私たちはそれらを日々受信し、理解し、そして発信しながら生活している。視覚情報について知り、そしてどのような思考ができ、また役に立つのかを、講義とワークショップを通じて体験し、考えていく講座である。

○講座内容の理解の深まりについて



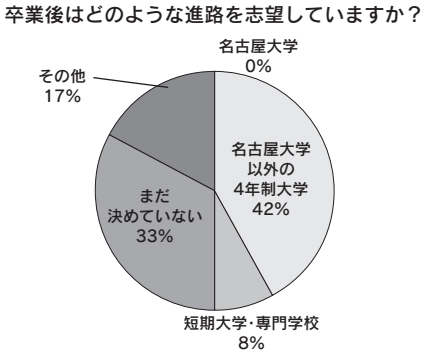
講座内容の理解については、100％の受講者が「よく解できた」「やや理解できた」と回答した。

○将来の進路を選択する上での影響について



今回受講した事は、高校卒業後の進路選択をする上で参考になったかについては、84％の受講者が「とても参考になった。」「やや参考になった」と回答した。

○志望する進路



志望する進路については、名古屋大学が０％、受講者の42％が「名古屋大学以外の４年制大学」と回答した。また、「まだ決めていない」は33％であった。

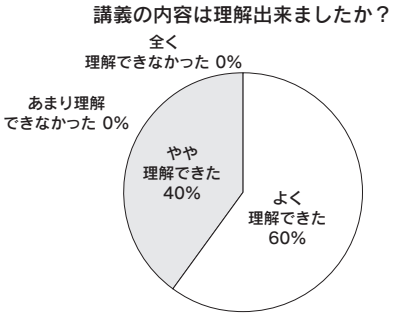
○受講者の感想（一部抜粋）

- １つのお題で沢山のアイデアを考えることが面白く感じました。説明が下手くそな自分でも、一番メインになるところを赤で塗れば、どこが大事なのかが分かりやすくなるので、すらすら説明できた。
- ペン書き→ミスっても消せない　2.ふちどり→遠くからでもわかり　3.赤→伝えたいところが分かる　4.影→もっと分かりやすくかつ見やすく、視覚で考えることで、自分の考えを形にし､自分にとってもほかの人にとっても､分かりやすくなることができると分かった。「写真」１つで、様々な表現ができると分かり、面白かった。
- 自分が描いたデザインが伝わったときの楽しさ。
- アート、芸術に関して新たに知ることができました。あまり理解できていないところがあったので、新しく自分の考えに加えることができました。なので、これからももっとアートに関して理解を深めることができると思います。
- 体験させてもらえたことで、授業が面白かったので、全国に教育機関にも広めて、もっと授業を楽しくしてほしい。

＜人間発達科学探究講座＞　受講者：30名

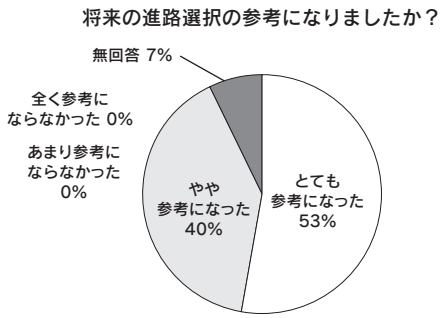
「第１コース【生涯教育開発】教育格差の壁にどう立ち向かうか？」「第２コース【学校教育情報】『学ぶ』『教える』とはどういうことか？」「第３コース【国際社会文化】新自由主義とグローバル化のゆくえ」「第４コース【心理社会行動】統計で何がわかるか」「第５コース【発達教育臨床】こころの不思議を体験する」の５つのコースを通じて､教育と人間発達について学ぶ講座である。

○講座内容の理解の深まりについて



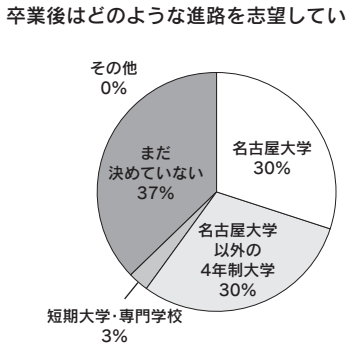
講座内容の理解については、100％の受講者が「よく解できた」「やや理解できた」と回答した。

○将来の進路を選択する上での影響について



今回受講した事は、高校卒業後の進路選択をする上で参考になったかについては、93％の受講者が「とても参考になった」「やや参考になった」と回答した。

○志望する進路



志望する進路については、受講者の30％が「名古屋大学」、30％が「名古屋大学以外の４年制大学」と回答した。また、「まだ決めていない」が37％であった。

○受講者の感想（一部抜粋）

- このような長時間の講義はとても疲れたけど、興味があり、学びたい学問についてだったので、とても有意義な時間が過ごせた。大学でもっと深く研究できるように、今やるべきことをしっかりこなしていこうと気が引き締まった
- 発展的な内容を簡単に学べたので面白かった。貧困に対する解決策がよく分からなかった。
- 能力主義を徹底するだけでは改善できないということ。両親の学歴や収入が子どもに反映されているということ。障害のある人も制度や機械を利用することで、壁を乗り越えることができるということ。
- 教育格差を無くすためには、能力で平等に比べられるべきだと思っていたけど、能力で比べるだけでは不利になってしまう人がいるというのが、私にとって新しい発見であり、とても印象に残りました。教育格差を無くすための方法をもっと考えてみたいです。
- 「ゆとり」とよばれたあの時代のことを深く正しく知ることができ、とても嬉しかったです。そのような情報は私たちの世代の人は、どうしても自分の親や先生などからしか聞く機会がなく、必然的に偏った見方のものしか知ることができないため、本当にいい勉強になりました。
- オープンキャンパスのときではない名大のキャンパスの雰囲気を知れてよかった。内容も本当のゼミのような感じで、大学生のイメージがしやすくなり、受験勉強のモチベーションに繋がった。

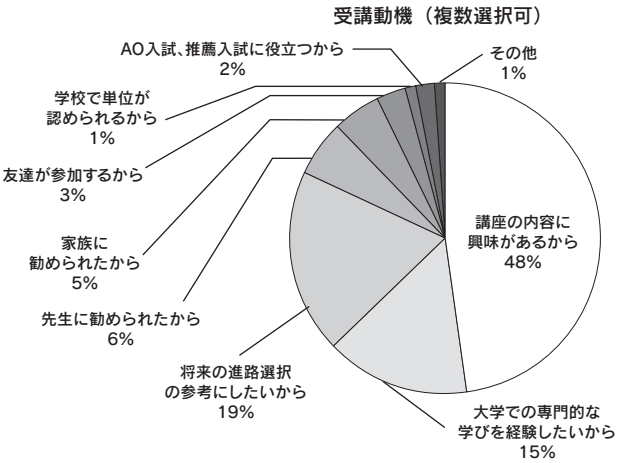
- 主体的な学習とは何かを考えるきっかけに成りました。入試についてはまだ”A問題”的な学習だと思うのですが、名古屋大学に入学して、大学で”B問題”的な学習を展開していきたいと思うのと同時に、それが出来る自分であれるよう頑張ります。年下の子がどんどん発言していて、刺激になりました。
- 考えたり話し合ったりすることが好きなので、楽しかったです。みんな（先生も高校生も）穏やかで優しくて、さっぱりしてて話しやすいし、みんなそれぞれのことをしてたりしてて、居心地が良かったです。やっぱり教育がやりたいなと確信しました。今年はギリギリ５回参加できなかったので、来年こそは５回参加したいです。大学の授業だと、やはり１つのことをやっても幅広いのでとても楽しいです。自由で好きなことに突き進めて、ワチャワチャしているところが大学ぽくってワクワクしました。知らなかったこととか、すごく興味のあることとか教えてもらえて楽しかったです。あとやっぱり、自分で考えて意見を言い合って、話をするのが好きなので、そういう活動が多くてとても楽しかったです。また来年も参加したいです。ありがとうございました。
- いろいろなワークをして見て、人はそれぞれ個性や考え方や価値観が全然違うんだなと改めて感じました。でもただ違うだけじゃなくて、似ていたり、共感できることもあったりするのが、面白かったです。話したことに対する受け取り方も自分が思っていたことと少し違ったりして、まったく同じように理解してもらうのは難しいと思いました
- どのワークもとても楽しかったです。他の人になりきって話すことは難しいけれど、その分相手のことをよく見て、よく考えて理解しようとするから、自分の自己紹介をするより楽しかったです。
- 印象に残ったことは、県外からこのイベントに参加している子がいたことです。小・中・高と名古屋に住んでいて、県外の子とグループワークするのは初めてだったので、楽しかったです（方言の話など）。面白かったことは、他人のことをまるで自分であるかのように紹介したことです。初めての経験だったので新鮮でした。
- 最初にやった自己紹介では、一番自分を知っているはずの自分が、いざ自分のことを説明してといわれるとうまく表現することが出来なかった。自分をもっと知って、自分をうまく表現できるようになりたいと思った。他己紹介をしたとき、ほかの人に自分のことを紹介されてて、不思議な気持ちになった。今日会ったばかりの人なのに、大体のことが合っていて、すごいなと思った。
- みんな色々なところから来ていて、将来についての意識の高さ等を感じた。私は海外に興味があるのだが、国際系にいかないと外国に行く機会はないと思っていた。しかしどの講座の先生も割りと海外に言っていたりして、無理に国際系の学部を選ばなくてもいいんだと分かった。同じ教育学部でもいろんなタイプの先生がいて、面白かった。
- 人の心はとても複雑で、他人が当事者の気持ちに寄り添い、悩みを解決していくことが難しいことが分かりました。自分でも過去の自分の気持ちを考えて、なぜあのようなことになったのかと考えることが時々あります。自分でも自分のことがよく分からないのに、他人のこととなるとさらに分からないことが増えると思います。人の立場にたって相手のことをよく知るアクティビティでは、イメージや平均的な答えを参考にして考えるしかないので、難しかったです。

他人が自分のことを話していることを聞くことによって、客観的に見ることができ、違う視点から新たな面を知ることができました。価値観を比べるものでは、私の班ではほとんど全員の考え方が似ていました。しかし他の班とは全く違い、面白く興味深かったです。

- 教育学部だけでも学ぶ学問が多くて、とても驚き、また感動しました。僕はまだ、この学問について将来学びたいというのがないので、来年もこの企画に参加して、どんな学問があるのかについて学びたいです。そして将来は自分のやりたいことをしっかりと見つけて、色々な学問を大学で学んで行きたいです。今回参加した人間発達科学探究講座の中では特に「新自由主義とグローバル化のゆくえ」という講座に興味が湧きました。
- 物語をつくるゲーム→ハリーポッターのパパの物語ができた。他己紹介で、全然違うことを言ってたら申し訳ないので、ハラハラした。伝言ゲームが、難しかった。でもペアが絵のうまいひとだったので、私の下手なジェスチャーでも見本に近い絵がかけていた。
- 臨床心理学は前から少し気になっていたので、今回学ぶことが出きて良かったです。グループ活動は最初人見知りなので、不安が大きかったですが、メンバーの皆さんが優しかったので、とても楽しかったです。普段学校では自分の意見を全く言えていないので、２学期からは自分の考えなどを少しでもおおく周りに伝えたいです。

＜総計＞　受講者数合計：238名

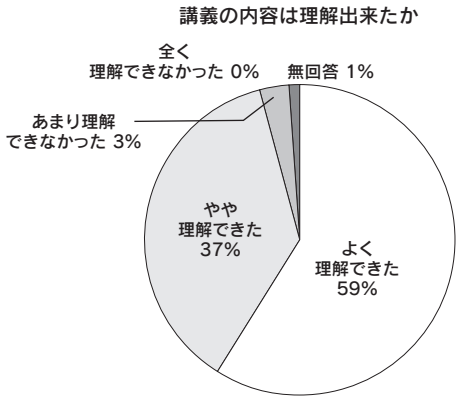
○受講動機（複数選択可）



受講動機は「講座内容に興味･関心があるから」が全回答の48％だった（2017年度は27％）だった。「大学での専門的な学びを体験したいから」という“大学での学びの体験”を動機に挙げたのは全回答の15％だった（2017年度は23％）。また「将来の進路選択の参考になるから」は2017年度よりも４％上昇し19％だった。

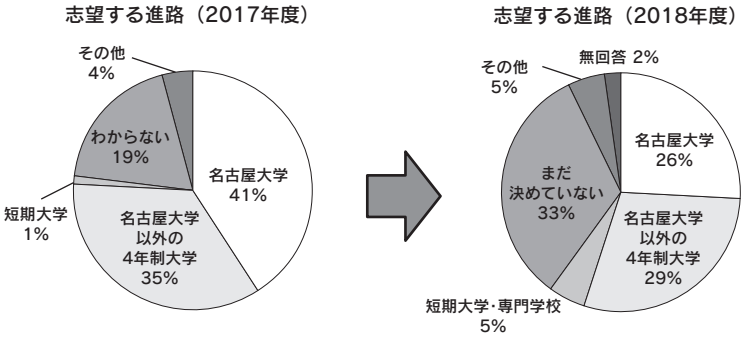
「学びの杜・学術コース」は、高校生の知的好奇心を満たすだけでなく、大学の学びを体験できるチャンスであり、大学への進学を志望する高校生にとって進みたい学部の研究内容を知る、または進路選択の参考にすることができる良い機会となっていると考えられる。

○講座の内容と理解の深まりについて



「講座内容は期待通りだったか」という質問には96％が「期待通りだった」と回答し、質問に対し良い結果が出ていることから、新しい学問に触れること、知識の幅を広げることができる本講座に、非常に積極的に参加していると推測できる。本講座は高校生に大学レベルの高度な「学び」を体験する機会を提供することで、各自の興味や関心を育み、学ぶ意欲を高めることの一助になっているのではないかと考えられる。

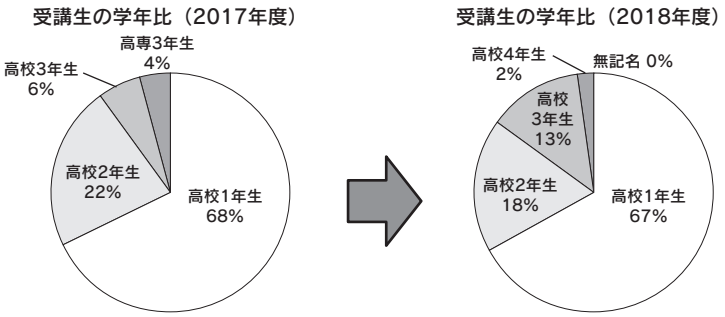
○志望する進路



志望する進路は、2018年度は受講者の26％が「名古屋大学」、29％が「名古屋大学以外の４年制大学」と回答した。つまり、41％が「名古屋大学」と回答していた2017年度と比較して15ポイント下降した。しかしこれは、今年度は、過去に名古屋大学に入学していない高校にも募集の範囲を広げたためだと考えられる。受講者人数からその実習を計算すると、昨年度は 144人×0.41≒66人、今年度は、238人×0.26≒62人で、名古屋大学を志望する生徒の人数はほとんど変わっていない。

名古屋大学の学びを体験することができる本講座は、名古屋大学への進学を志望する高校生にとって、志望大学の講義を体験することができる良い機会となっており、今年度はその傾向が強く出たと考えられる。また名古屋大学以外の大学への進学を志望する高校生にとっても、大学の学部の研究内容を知るための機会となっていると推測できる。

○受講者の学年比率



受講者の学年比率は、2018年度は高校１年生が67％、２年生が18％、３年生が13％、高専生が２％だった。７割近くが高校１年生であることから､本講座を受講することで自分の適性を知り、将来の進路や志望する学部を検討するために役立てようとしていると考えられる。

●講座運営について●

＜今年度の試み＞

１.リーフレットの配布について

これまでは送付先を限定していたが、多くの高校からの要望に応える目的で、今年度は愛知県下に関しては全高校（公立166、私立58）と高専１校に送付した。その他、近隣県の高校72校（これまでと変わらず岐阜33、三重24、静岡６、滋賀７、長野１、福井１）、愛知県・名古屋市の教育委員会、その他学びの杜の講師（学内36、学外８）、名大の理事・副理事（17名）、教育学部の教員に送付および配布した。詳細は次のとおり。

（単位：部）

発　　送		配布その他	
東海地方の高校（297校×８）	2,376	講師（学内）36名	36
教育委員会（２委員会×２）	4	理事、副理事（総長）17名	17
講師（学外）８名	8	附属学校（生徒、教員）	650
岐阜県立岐阜北高玖（依頼分）	15	附属学校事務室	50
		附属学校SSH担当者	50
		教育発達科学研究科教員	45
		大学オープンキャンパス 配布用	730
		河合塾イベント配布用	200
		学びの杜・修了証ファイル添付用	71
		視覚文化探究講座講師	50
		附属学校（上記以外）	50
小計	2,403	小計	1,949
		合計	4,352

送付先の高校の数が増えたため、１校あたりの送付数を８枚にしたが、10枚でも十分足りたと思われる。

２．受講者数

「ポスター」と「QRコード」

１昨年度の活動のまとめの中で、この講座以外の、多様な組織からの高校生のための学習機会の提供にともなって年々減少傾向にある受講者数への対策を今後の課題として挙げた。そこで、ひとりでも多くの高校生に名古屋大学の講義を体験する機会を提供し、将来の進路選択の参考の一助となるようにと告知の方法を検討した結果、各高校の生徒に広く告知するにはポスターが有効ではないかと考えた。そのため、それまでは、各高校１校あたり10部のリーフレットの送付していたのを、昨年度から、Ａ３サイズのポスターを新たに作成し、リーフレットと一緒に各高校に送付することにした。なお、ポスターには「学びの杜・学術コース」のWEBページのQRコードも掲載した。紙面スペースの関係から、ポスターには講座の詳しい内容が掲載することができなかったため、多くの高校生が持っているスマートフォンを活用し、QRコードからWEBページにアクセスすることで講座内容を閲覧できるようにした。また「学びの杜・学術コース」のWEBページでは、受講申込メールを送信できるような仕組みを設定したので、このQRコードはリーフレットにも同様に掲載した。これにより、昨年度から申し込みが増えた。

今年度も同様に告知したが、「学びの杜を知ったきっかけ」として３％が「ポスター」を挙げた（複数回答可）。

今年度の受講者数とこれまでの推移を下記に示す（実人数）。今年度は100名以上の大幅な増加があった。また、参加者が少なかった講座にも一定数の参加者が得られた。

各講座の受講者数一覧表

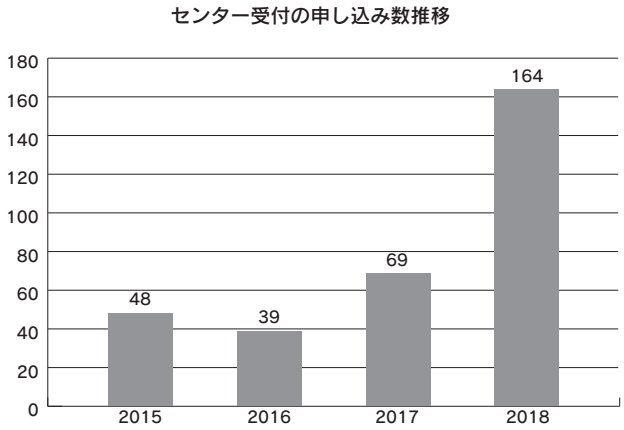
今年度の受講者数とこれまでの推移を下記に示す（実人数）。今年度は大幅に増加した。

（単位：人）

講　座　名	2016	2017	2018
物理学探究講座（SSH講座）	16	38	26
生命科学探究講座（SSH講座）	28	33	60
地球市民学探究講座（SSH講座）	26	26	35
地域包括ケア（2017年度から「チーム医療」）	2	12	23
インフラ工学探究講座	6	9	25
人文学探究講座	3	6	23
コンピュータ・電子工学探究講座（2018年度より名称変更）	6	5	19
人間発達科学探究講座	8	9	34
視覚文化（2017年度からスタート）	-	6	11
受講者数	95	144	256

*2016年度の講座名は「地域包括ケアシステム探究講座」

センターで受け付けた申し込み数（附属学校以外のSSH講座へ参加申し込み、およびSSH講座以外への参加申し込み）の推移は下記のとおり。



３．学びの杜のWEBページ

2016年度から、クリックすることで各自の携帯電話のメーラーが自動に立ち上がり、受講申し込みのメールの送り先のアドレスをはじめ、件名、名前や住所など、必要な項目があらかじめ自動入力されるリンクを、「学びの杜・学術コース」のWEBページ上に設定した。これにより、申し込みの際に必要な項目の記入漏れが大幅に減少した。

４．告知

学びの杜開催について広く告知するため、情報発信について積極的に活動した。今年度新たに着手した告知方法は下記のとおり。

告　知　方　法
名古屋大学WEBページの「イベントページ」への掲載
名古屋大学のFaceBookでの配信名古屋大学のTwitterでの配信
「あいちサイエンスコミュニケーション」への掲載およびメルマガ配信
河合塾での配布・掲示
「あいちの学校連携ネット」への掲載
名大工学部のLINE
工学研究科土木工学専攻WEBサイト
人文学研究科WEBサイト
教育発達科学研究科WEBサイト

5.「修了証」と「受講証明書」

- 今年度の発行数は72名分であり、内訳は生命科学探究講座が37名、地球市民学探究講座が19名、人文学探究講座が13名、人間発達科学探究講座が３名であった。

6． 視覚文化探究講座の開講中止となった講義

視覚文化探究講座の４つの講義のうち、初日開講予定の２講義への申し込みが１- ２名だった。受講生から当日に欠席連絡があった場合、遠方から来られる担当の先生にご迷惑をおかけする可能性があるので、窓口の茂登山先生にご相談し、この２講義を中止とした。

なぜ、申し込みが少なかったのか、現状では原因が不明であり、検討する必要がある。

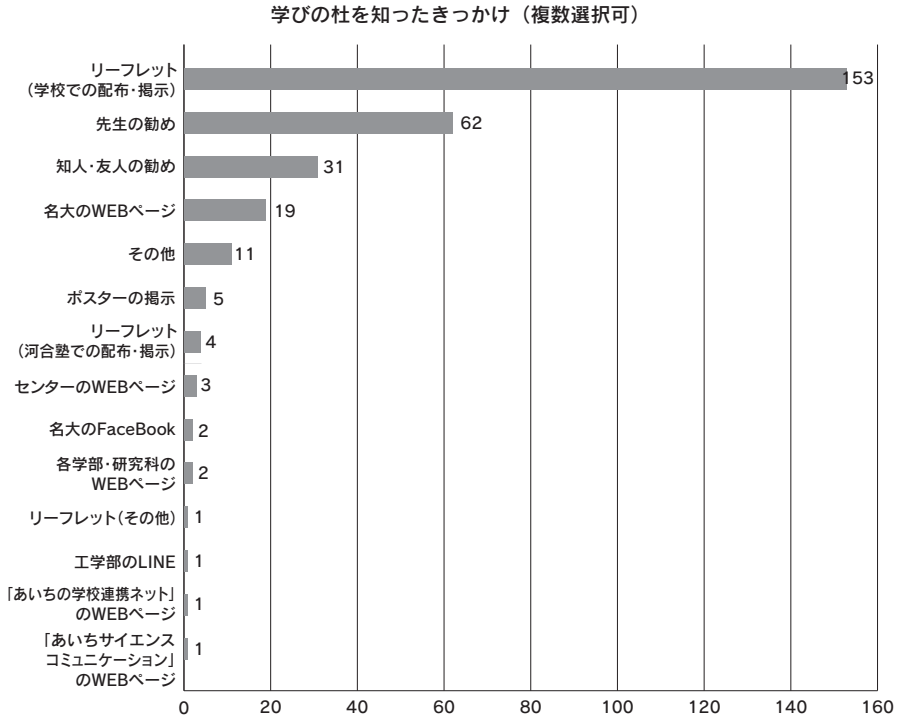
＜今後の課題＞

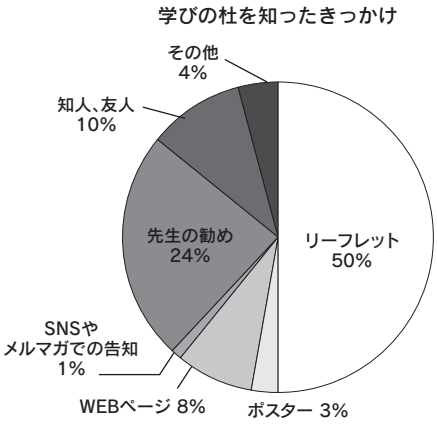
1．リーフレット

- 来年度も今年度と同じ送付先にするなら、各高校への送付数は10枚とする。（印刷数50,00枚の場合）
- 送付先を増やすなら、東海３県（愛知県、三重県、岐阜県）は全高校が望ましいと考える。

2．告知ーアンケート結果を踏まえて

- 昨年度の課題および申し送り事項の一つであった「告知」に関して、各関係部署などに依頼して、様々な方法で広報活動を行った。WEBサイトでの掲載はある程度の効果はあると分析する。来年度も引き続き、同じ方法で告知する。以下、アンケートの結果をまとめたグラフを示す。





しかしながら、アンケートの回答には「もっと告知をするべきだ」という意見が数件あった。以下、アンケートの抜粋。

- 広報活動が足りないと感じます。名大のオープンキャンパスにいくという友人は多かったのですが、この講座について知っている人や参加する人は誰も私の周りにいなかったです。折角先生方に直接講義してもらえる貴重な機会なので、もっと広まって欲しいと思います。（人間発達科学探究講座受講生）
- ２年生以前にこの活動を知りたかったので、広告活動を強くして欲しい。（人間発達科学探究講座受講生）
- この講座について知る機会が今まであまりなかったので、オープンキャンパスなどで宣伝するとより多くの人が知ることができると思いました。（人文学探究講座受講生）

→ 各高校内での告知は、担当教員の裁量に委ねられているのが現状。これらの声に応えるには、どのような方法を採用すべきなのか、検討する必要がある。

今年度の学びの杜ではGoogle mapを活用し、開講場所をURLにして各受講者に連絡した。しかしながら、「場所がわかりにくい」という回答が複数あった。「分かりにくいので、案内板を駅から出して欲しい」という要望に対して、職員数が少ないセンターとしてどこまで応えられるか、検討する必要がある。講座開催場所への同様の意見が大変多かった。

学びの杜について外部からの問い合わせ電話が複数回あった。どれも他部署から回ってきた電話だった。他部署にご迷惑をおかけしたので、リーフレットにセンターの電話番号を記載したほうがよい。ただし、受付時間を明記する。（曜日や時間など）

センターの電話番号を載せる場合は留守番電話も含めて検討する必要がある。また、来年度に向けて、学びの杜の申し込みを半自動化することを検討中である。

３．学びの杜への要望ーアンケートの回答から

今年度のアンケートには「学びの杜に対する要望」を記入する欄を設けた。その内容を下記に記す。全てを解決することは出来ないが、これからの運営についての参考としたい。

＜地球市民学探究講座の受講生＞

- スライドの資料が毎回もらえるわけではなかったので、毎回欲しかった。
- もう少しコマ数が少なくてもよかった。
- 眠くならないように、もっと生徒同士で話し合える時間や雰囲気がほしい。
- ２時間聞き続けは流石にきつかったので、公式で休憩が欲しかった。水を飲んでいいか分からなかった。
- 時間を区切るチャイムが欲しいです。もしくはタイムテーブルをしっかり設定して欲しい。

＜生命科学探究講座の受講生＞

- 講座を午後にして欲しいです。午前だと部活を休まなければならないため、少し嫌です。
- 午後からがよかった。試合が近いので部活がほぼ行けなかった。

＜物理学探究講座の受講生＞

- 宇宙に関する講座を増やして欲しい。
- 冬休み中にも開催して欲しいです。

＜インフラ工学探究講座の受講生＞

- 体験できることをもっと増やして欲しい。
- 実際に橋をみたりするのが楽しく、興味を持てたので、話を聞くだけでなく、実際に見たり実験がもっとあるといいなと思った。
- 学生の方とも触れ合ってみたいです。

＜チーム医療（多職種連携医療）探究講座の受講生＞

- すごく楽しいので、もっと時間を長くしてほしいです。

＜コンピュータ・電子工学探究講座の受講生＞

- 質問できる人がもう１人くらいいると嬉しかったです。
- 普段全く使わないものを扱ったので、説明がもう少し欲しかった。
- 休む時間が分からなかった。自分は１人だったので、できればもう１人いれば楽だったように思います。
- 回路の辺りが難しく、もう少し解説を入れて欲しかった。

＜人文学探究講座の受講生＞

- 名古屋大学についての話（説明等）があってもいいかもと思います。

- この講座について知る機会が今まであまりなかったので、オープンキャンパスなどで宣伝するとより多くの人が知ることができると思いました。

＜人間発達科学探究講座の受講生＞

- 広報活動が足りないと感じます。名大のオープンキャンパスにいくという友人は多かったのですが、この講座について知っている人や参加する人は誰も私の周りにいなかったです。折角先生方に直接講義してもらえる貴重な機会なので、もっと広まって欲しいと思います。
- ２年生以前にこの活動を知りたかったので、広告活動を強くして欲しい。
- 心理学についてもっと様々な分野を学びたいと思った。

＜視覚文化探究講座の受講生＞

- 場所が分かりづらいからE-mailで経路を絵にして欲しい。
- 飲食禁止の教室での開催は、夏にはつらい。
- 講座の場所がすごくわかりにくい。
- 場所が分かりづらかったので、棟の入り口にラボの階数とかの張り紙が欲しいと思いました。

＜2018年度「学びの杜・学術コース」リーフレット＞

名古屋大学の知を高校生に

学びの杜・学術コース 2018

主催：名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属 高大接続研究センター

高校生対象
受講料無料

──学問の世界を知り、創造的な学びの力を育む──

「学びの杜・学術コース」は、名古屋大学の教員を中心として、学問研究の最前線で活躍する研究者たちが、高校生の皆さんを対象に、それぞれの学問領域における知の探究の成果や方法、スタイルなどについて、わかりやすく解説し、知の探求の愉しさと厳しさを体験してもらうという目的で開設された本格的な「学術的な探究講座」です。

大学レベルの高度な「学び」を体験することにより、高校生の皆さんが、各自の適性について、また興味や関心について育み、将来のヴィジョンを広げたり、キャリア・デザインの形成へと発展できるように企画されています。ぜひ、ご参加ください。

生命科学探究講座

生物多様性からみた生命および、生命を支えるしくみについて学び、生物の進化と多様性を、様々な角度から考えます。

物理学探究講座

今日、科学的に広く受け入れられている宇宙の誕生と進化について学びます。

地球市民学探究講座

グローバル化がもたらす様々な問題について学び、異文化理解の方法、地球市民としてのあり方を考えます。

インフラ工学探究講座

インフラの役割と今ある問題、防災・減災対策について学び、安心・安全な生活とインフラ工学の関係を考えます。

コンピュータ・電子工学探究講座

電子回路の製作演習と簡単なプログラミングを通して、その先にあるデータサイエンティストへの道について紹介します。

チーム医療（多職種連携医療）探究講座

少子化・超高齢化時代を迎える日本に必要な「チーム医療（多職種連携医療）」について学び、「住民が地域社会で幸せに暮らせる社会」を考えます。

人文学探究講座

世界各地の文化や社会、あるいはその歴史を通して、人間の営みについて考えます。

視覚文化探究講座

写真、絵などの視覚情報について学び、そこでどのような思考ができ、役立つのかを、講義とワークショップを通して考えます。

人間発達科学探究講座

人間の発達・学習・社会化など「人間形成」に関わるさまざまな問題を、各コースの先生と一緒に考えます。

受講申し込みについて

申し込みは、❶受講希望講座名（生命科学探究講座、地球市民学探究講座、人文学探究講座、視覚文化探究講座は受講希望回、人間発達科学探究講座はコース名を明記）❷学校名 ❸学年 ❹氏名（ふりがな） ❺住所 ❻自宅電話番号 ❼当日連絡可能な携帯電話等の電話番号 を明記し、下記のメールアドレスへお願いします。

◎申し込みは取りまとめず、参加者が直接申し込んで下さい。◎申し込みは先着順に受け付けます。定員に達しましたら、締め切り前に受け付けを終了します。すでに定員に達した講座に申し込みをいただいた場合は、折り返しその旨を連絡します。◎申し込み方法は「2018年度学びの杜・学術コース」のWEBページにも掲載しています。右下のQRコードからアクセスしてご覧下さい。◎申し込み確認や会場案内等はメールで行いますので、必ず下記のメールアドレスから受信出来るようにしておいて下さい。◎申し込み締め切りに間に合わなかった場合でも、定員に達していなければ受け付けられる場合がありますので、下記メールアドレスまでお問い合わせ下さい。

〈申し込み・問い合わせ先〉
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属 高大接続研究センター
chet@educa.nagoya-u.ac.jp（なお、高大接続研究センターの「2018年度学びの杜・学術コース」のWEBページからも“受講申し込みメール”を送ることができます。）

生命科学探究講座

SSH 名古屋大学教育学部附属高校 スーパー・サイエンス・ハイスクール授業の一般公開

定員：30名　申し込み締め切り：7月6日（金）

生命科学について、名古屋大学博物館、生命農学研究科、理学研究科の先生方に講義をしていただきます。

◉一定条件を満たした受講生には「修了証」と「受講証明書」を授与します。なお、名古屋大学博物館で行われる講義（1～6）は90分です。「修了証」と「受講証明書」の授与には各自で博物館を見学したことについてのレポートを提出する必要があります。

1	7月13日（金） 13:30–15:00	**アフリカで生まれた人類が日本人になるまで** 門脇誠二（名古屋大学博物館／先史考古学）	アフリカで誕生した人類が、いつ、どのように日本列島にやってきたのでしょうか。人類進化史のドラマと日本人の起源の新事実についてお話しします。
2	7月13日（金） 15:30–17:00	**生物多様性（Biodiversity）—多様性って何だろう** 東田和弘（名古屋大学博物館／地質学・テクトニクス）	生物多様性を例に、“多様性”の意味を考えます。多様性は守るべきか否かについて、自分自身で考えます。
3	7月17日（火） 13:30–15:00	**植物から学ぶ生物の多様性** 西田佐知子（名古屋大学博物館／植物生態学・分類学）	植物は地球上に約28万種いると言われています。なぜこんなに多様なのでしょうか？実際の植物を観察しながら、生物の多様性について考えます。
4	7月18日（水） 13:30–15:00	**二枚貝から「中生代の海洋変革」を学ぶ** 大路樹生（名古屋大学博物館／古生物学・古生態学）	二枚貝を詳しく観察することによって、その構造がその生態と捕食者からの防御と深く関係していることを理解し、「中生代の海洋変革」との関連を学びます。
5	7月18日（水） 15:30–17:00	**骨の形から復元する絶滅動物の姿** 藤原慎一（名古屋大学博物館／機能形態学）	恐竜はどんな姿勢で歩いていたのでしょうか？現生の動物の骨や筋肉の特徴から、絶滅動物の姿勢を復元する方法について考えます。
6	7月19日（木） 13:30–15:00	**鉱物と生物—地球上の物質循環と生命** 吉田英一（名古屋大学博物館／環境地質学・応用地質学）	地球上の物質循環と鉱物、生命との関係について、鉱物やコンクリーション標本などを用いて講義します。
7	7月30日（月） 10:00–12:00	**花の謎解きから新種誕生へ** 東山哲也（トランスフォーマティブ生命分子研究所／生殖分子情報学）	花は見て美しいだけでなく、植物の種の維持、新種誕生、人類の食糧生産に関わる重要な役割を持ちます。花の内部で起こることについて、研究の最前線を紹介します。
8	8月20日（月） 10:00–12:00	**食べ物がどうやって栄養になるか** 小田裕昭（農学部・生命農学研究科／栄養生化学）	食べたものが身体に取りこまれる消化吸収のメカニズムと、それが生物にとってどのような役割を果たすかについて学びます。
9	8月21日（火） 10:00–12:00	**発光生物の科学** 大場裕一（中部大学応用生物学研究科／発光生物学）	様々な光る生き物を紹介し、その発光のメカニズムと最先端研究への応用について解説します。
10	8月22日（水） 10:00–12:00	**動物生産を科学する** 井上直子（農学部・生命農学研究科／動物生殖科学）	食糧生産、特に動物生産について、現状を紹介しつつ、科学的な解決方法について解説します。

チーム医療（多職種連携医療）探究講座

定員：15名　申し込み締め切り：7月23日（月）

会場：名古屋大学医学部（鶴舞キャンパス）

担当：医学部・医学系研究科地域医療教育学部寄附講座

我が国は超高齢社会を迎え、地域医療現場にも時代にあった新たなシステムや考え方が求められています。その一つが「チーム医療（多職種連携医療）」です。医療機関だけでなく地域社会で、在宅医療、訪問看護、服薬指導、リハビリ、介護、福祉から社会活動までをつなげること、すなわち、多職種協働によるチーム医療の提供により、1人1人の住民が、地域社会で幸せに暮らせる事を目指しています。

1	7月30日（月） 13:00–16:00	**チーム医療（多職種連携医療）について学ぶ** 岡崎研太郎（糖尿病・総合診療医学・医学教育学）、高橋徳幸（家庭医療学・医学教育学・総合診療医学）、末松三奈（糖尿病・医学教育学）、藤原道隆（附属クリニカルシミュレーションセンター／消化器外科学・内視鏡外科学）	なぜ、チーム医療が求められているかをご存知ですか？医療機関では医療安全の観点、患者ケアの質の向上、医療の効率化をはかるため、多職種協働による医療、すなわちチーム医療が求められています。また、少子化および超高齢社会を乗り越える社会モデルとして、厚生労働省は地域社会における多職種連携を推奨しています。本講座では、クイズやミニレクチャーだけでなく、クリニカルシミュレーションセンターの協力を得て、シミュレーション設備見学と体験などの機会を通して、多職種が協働して行うチーム医療について考えたいと思います。

インフラ工学探究講座

定員：25名　申し込み締め切り：7月31日（火）

担当：工学部・工学研究科土木工学専攻

道路・鉄道・上下水道・電力施設・通信施設・堤防・港湾施設・防災施設などのインフラの役割を、近年頻発する地震などに対する防災・減災対策と、社会問題となりつつある老朽化の観点から学びます。安心・安全な生活とインフラ工学の関係を考えてください。

1	8月16日（木） 10:00–12:00	**橋の老朽化と対策** 中村 光（コンクリート構造学・維持管理工学・耐震工学）	インフラの代表的な構造物である橋を取り上げ、橋が劣化する原因、橋の状態の診断技術、橋を直すための修復技術を紹介します。また、名古屋大学の中に世界で初めて作られた点検研鑽用の橋を使って、橋の診断をする臨床実習を行います。
2	8月16日（木） 13:00–14:15	**津波のメカニズムと予測** 水谷法美（海岸工学・海洋工学）	津波とはどのようなものか？津波の高さはどのように決まるのか？津波の高さをどのように予測するのか？津波に関する基礎知識と最新の技術について紹介します。
3	8月16日（木） 14:30–15:45	**液状化の発生と対策** 野田利弘（土質工学・地盤工学・地盤防災工学）	どのような場所で液状化が発生しやすいかという発生原因や、液状化が及ぼす影響を、簡単な実験と最新のコンピュータシミュレーション技術を用いて紹介します。

地球市民学探究講座

SSH 名古屋大学教育学部附属高校 スーパー・サイエンス・ハイスクール授業の一般公開

定員：30名　申し込み締め切り：7月3日（火）

グローバル化の中の様々な問題―偏見・差別、環境、病気、ジェンダー、メディアリテラシー ―を取り上げながら異文化理解の方法や地球市民としてのあり方について考えます。

◉一定条件を満たした受講生には「修了証」と「受講証明書」を授与します。

1	7月7日（土） 10:30–12:30	**疾病の恐怖：人間と感染症との闘い** 福田眞人（名古屋外国語大学英米語学科／比較文化・医学史）	人類はどの時代にも、なんらかの疾病に直面してきました。天然痘は、かつて日本で疱瘡（ほうそう）と呼ばれ、死病でした。コレラは、19世紀のヨーロッパを襲い多数の死者を出しました。そして、今、AIDSやSARS、エボラ出血熱が、鳥インフルエンザ同様に怖いです。人々はこれらの恐怖とどのように戦ったのでしょうか？
2	7月8日（日） 10:30–12:30	**「草原の国」モンゴルの歴史と現在** 中村真咲（名古屋経済大学経営学部経営学科／憲法・比較法）	「草原の国」と呼ばれるモンゴルは、激動の20世紀のアジアにおいて、中国とロシアという大国に挟まれながらも100年にわたって独立を維持してきました。伝統的な遊牧を残しながらも、国際政治の最前線で大国と渡り合いながら独立を守ってきたモンゴルの歴史と現在について一緒に考えていきます。
3	7月13日（金） 13:30–15:30	**東洋の宝石（ヒスイとラピスラズリ）と西洋の宝石（ダイヤモンド）** 足立 守（環境学研究科附属地震火山研究センター／地質学）	いわゆる誕生石には、東洋の宝石と呼ばれるヒスイは含まれていません。一方、仏教の経典に登場する宝石にはダイヤモンドやエメラルドはありません。宝石を通して、東洋と西洋の違い、さらには地球環境の違いを考えてみます。
4	7月14日（土） 10:00–12:00	**変わる中国、変わらない中国～巨大な隣国の現在を知る** 砂山幸雄（愛知大学現代中国学部現代中国学科／現代中国政治・現代中国思想・文化研究）	中国は古来、日本人にはおなじみの国です。現在では中国との人的往来はとても濃密です。しかし、日本人にとって中国は、いまだに理解するのが難しい、付き合いにくい国のようです。その原因を考えることを通じて、現在の中国への理解を深めます。
5	7月17日（火） 13:30–15:30	**海外留学のススメ** 星野晶成（国際教育交流センター／教育社会学・国際教育交流）	近年は、学生の間に海外留学を経験することがあまり珍しいことではなくなりました。海外留学するメリット・デメリットは何か？ 海外留学するとなぜ良いのか？ 現在の日本の海外留学の動向を踏まえて、皆さんの今後の進路や将来設計の中に、海外留学をどう組み込ませていくかを一緒に考えていきます。社会に出る前に、海外経験を知らないと恥をかく時代がすぐそこに来ているかもしれません。
6	7月21日（土） 10:00–12:00	**人種偏見・差別の心理学** 高井次郎（教育学部・教育発達科学研究科／社会心理学）	人種偏見を持ったり、人種差別をしたりすることは良くないのは言うまでもありません。でも、なぜ我々は差別をしてしまうのでしょうか。気づかずに、無意識的に差別をしてしまうこともよくあります。人種偏見を心理学的に解明しましょう。
7	7月23日（月） 13:30–15:30	**日本人の英語教育における学習不安** 岩城奈巳（国際教育交流センター／英語教育・帰国子女教育）	日本人は外国語、特に英語を学ぶにあたって、いろいろな不安を感じます。自分の発音がおかしいのではないか、間違えをすることによって周りの人に笑われるのではないかなど、語学教室の中で多くの不安に直面します。こうした英語学習の不安について、皆さんと一緒に検討します。
8	7月24日（火） 10:00–12:00	**人口減少時代をどう生きていく？** 小松 尚（環境学研究科／都市環境学）	ご存じの通り、日本の人口は現在減少傾向にあり、このままだと2050年代前半には日本の人口は1億人を切ると予測されています。そこで、人口減少社会の課題や対策について、一緒に、そして前向きに考えてみます。
9	7月26日（木） 10:00–12:00	**スマホがあれば、新聞はいらない？** 辻 篤子（国際機構国際連携企画センター）	ニュースでも何でも、情報はスマホで簡単に手に入る時代です。紙の新聞なんて古くさいと思いますか？ でも、スマホのニュースも新聞記事がもとになっているものがたくさんあります。大切なのは、あふれる情報の中から正しいものを見分けることです。新聞記者としての経験をもとに、情報をどう使っていくか、考えてみたいと思います。
10	7月30日（月） 10:00–12:00	**ジェンダー視点から考える女性教育史** 榊原千鶴（男女共同参画センター／女性教育史・日本中世文学）	日本では江戸時代まで、女性と男性とでは学ぶ内容が明確に分けられていました。女性に向けた戒めや教訓、身に付けるべき技能や立ち居振る舞い、こうあるべきという規範や期待される女性像とはどういうものだったのか。「女訓書」という言葉はあるのに、なぜ「男訓書」という言葉はないのか。海外との比較もまじえながら、日本における女性教育の歴史的変遷をたどります。

物理学探究講座

SSH 名古屋大学教育学部附属高校 スーパー・サイエンス・ハイスクール授業の一般公開

定員：40名　申し込み締め切り：8月16日（木）

今日、科学的に広く受け入れられている宇宙の誕生と進化について学びます。

1	8月23日（木） 10:00–12:00	**観測的宇宙論** 福井康雄（理学部・理学研究科／電波天文学）	現代の天文学は、宇宙と生命の起源を探ることを目指しています。南米チリの高地に設置した電波望遠鏡「NANTEN2」は、電波によって星が生まれるプロセスを観測し、「星と銀河の起源」を解き明かそうとしています。最新の観測で分かってきた宇宙の素顔を紹介します。 また、宇宙に関して日頃疑問に思っていることを質問してください。疑問に答えながら講義を進めます。

コンピュータ・電子工学探究講座

定員：20名　申し込み締め切り：7月31日（火）

AI、IoTが話題となっています。世界中で多くの企業がこの技術を用いた製品の開発にしのぎを削っています。そして、この技術の研究・開発を担うデータサイエンティストが強く求められています。一方で、Raspberry Piという名の小さなボードコンピュータが人気です。コンピュータ本体は4～5千円で購入できます。これに、ディスプレイ、キーボード、マウスをつければ立派なパソコンです。このパソコンを使えばロボットやAIスピーカを自分で創ることができます。Maker Fairでネット検索をすると、Raspberry Piなどで楽しく遊んでいる人々を垣間見ることができます。実は、Raspberry PiはAI、IoTなどへの入り口でもあります。

本講座ではコンピュータ＋電子回路で遊ぶ体験を通して、その先にあるデータサイエンティストへの道について紹介します。

1	8月18日（土） 13:00–17:00	**Raspberry Piの魅力：遊びからAI、IoTへ** 古橋 武（工学部・工学研究科 情報・通信工学専攻／コンピュテーショナル・インテリジェンス）	Raspberry Pi＋電子回路の製作演習と簡単なプログラミングを体験できます。製作課題は、例えば、ロボットもどきやAIスピーカもどきを作ります。全てが初めてでも、段階的に作っていきます。二人一組で協力して課題に取り組みます。製作体験を通して、その先に拡がる新しい世界について学ぶことができます。本講座が進学先を考える一助となるかも知れません。

人間発達科学探究講座

定員：20名　申し込み締め切り：各コースの実施2日前

教育学部というと、「教師になるための学部」というイメージがあるかもしれませんが、名古屋大学の教育学部はそうではありません。人間の発達・学習・社会化など「人間形成」に関わるさまざまなことを、5つのコースに分かれて理論的・実践的に学ぶことができます。この講座では、人間の発達・成長をめぐる現代の問題について、各コースの先生と一緒に考えます。

◉各コース別に募集します。複数のコースの受講も受け付けます。全コースを修了した受講生には「修了証」と「受講証明書」を授与します。

1	8月3日（金） 10:30–16:15 （休憩12:00–13:00）	第1コース〔生涯教育開発コース〕 **教育格差の壁にどう立ち向かうか?** 吉川卓治（教育学部・教育発達科学研究科／教育史）、辻 浩（教育学部・教育発達科学研究科／社会・生涯教育学）	今日の日本では子どもの6人に1人が貧困の状態に置かれているといいます。こうした子どもの多くは、進学をあきらめてしまい、就職しても貧困から抜け出せずに苦しんでいます。どうしてこのようなことが起こるのでしょうか。またどうしたらこうした状況を改善することができるのでしょうか。教育学の立場から考えていきたいと思います。
2	8月17日（金） 10:30–16:15 （休憩12:00–13:00）	第2コース〔学校教育情報コース〕 **「学ぶ」「教える」とはどういうことか?** 久野弘幸（教育学部・教育発達科学研究科／カリキュラム学）	「学ぶ」ことと「教える」ことをデザインする「カリキュラム」の考え方について、様々な事例を通して考えます。総合的な学習の「探究的な学び」の手法を用いてオリジナルの授業を構想し、その意味について考えてみましょう。
3	7月14日（土） 10:30–16:15 （休憩12:00–13:00）	第3コース〔国際社会文化コース〕 **新自由主義とグローバル化のゆくえ** 松下晴彦（教育学部・教育発達科学研究科／人間形成学）、阿曽沼明裕（教育学部・教育発達科学研究科／大学論）	現代社会は、グローバル化が多くの問題をもたらしながら加速的に進展している社会です。とりわけ新自由主義的な思想や政策が大きな影響を及ぼしてきました。この授業では、新自由主義的な思想や政策とはどのようなものであり、それが何をもたらしてきたのか、そして現在、反グローバル化の動きもみられるなかで、新自由主義がどのような位置にあり、どのような変化が生じつつあるのかを探ります。
4	8月1日（水） 10:30–16:15 （休憩12:00–13:00）	第4コース〔心理社会行動コース〕 **統計で何がわかるか** 光永悠彦（教育学部・教育発達科学研究科／計量心理学）	さまざまな人からたくさんのデータをとって統計処理をすれば、なにかいいことがわかるのでは? と、多くの人は期待します。果たして、本当にそうでしょうか? アンケート調査やテストの結果、確率に関する簡単な実験などを題材に、私たちは統計の数字から何を知ることができるのかについて、皆さんと一緒に考えていきましょう。
5	8月22日（水） 10:30–16:15 （休憩12:00–13:00）	第5コース〔発達教育臨床コース〕 **こころの不思議を体験する** 田附紘平（教育学部・教育発達科学研究科／臨床心理学）	臨床心理学は、心理療法・カウンセリングの実践をはじめとした実際の人と人の関わり合いをもとに、人の「こころ」を探究します。この授業では、いくつかのワークを通して、臨床心理学の基本的な考え方を体験的に学ぶとともに、人の「こころ」の不思議や奥深さにふれてみましょう。

人文学探究講座

定員：50名　申し込み締め切り：8月20日（月）

文学部では人文学を学びます。人間のさまざまな営みを通して人間について考える学問が人文学です。過去の、そして現在の人間がどういう存在であるかを知ることは、未来に向けてもとても大切なことです。今回の講座では、世界各地の文化や社会、あるいはその歴史を通して、人間の営みについて考えます。

◉二日間の出席を前提としていますが、希望回のみの受講も受け付けます。すべての授業を受講した受講生には「修了証」と「受講証明書」を授与します。

1	8月27日（月） 10:30–12:00	**怨霊のいない中国** 佐野誠子（文学部・人文学研究科／中国語中国文学）	菅原道真、六条御息所、お岩さん……日本には、怨みをもった幽霊（怨霊）の伝承がたくさんあります。ひるがえって、中国においては、怨霊はいないわけではないのですが、日本のようには目立ちません。なぜ両国でこのように違うのか、中国文学史を通じて考えます。
2	8月27日（月） 13:00–14:30	**現代日本の呪術・宗教・スピリチュアリティ** 東 賢太郎（文学部・人文学研究科／文化人類学）	本講義では、現代日本社会における呪術、宗教、スピリチュアリティの現状を取り上げます。迷信とされる呪術が歴史を通じて継続していること、無宗教といわれる日本人に根深い宗教的意識、そしてメディアや観光を通じて活性化するスピリチュアリティを紹介し、そこから一般的に理解される日本社会とは異なった別種の表情について考えたいと思います。
3	8月28日（火） 10:30–12:00	**ナイルのほとりでギリシア文化に出会う** 周藤芳幸（文学部・人文学研究科／西洋史学）	紀元前の最後の300年間、エジプトにはマケドニア系の王朝による支配のもとで、在地の伝統文化と外来のギリシア文化が複雑に混淆する世界が展開していました。この講義では、この世界に生きた人々の暮らしを復元するために行っている現地調査の様子を紹介しながら、フィールド人文学の魅力についてお話ししたいと思います。
4	8月28日（火） 13:00–14:30	**ムーミンの舞台でフィンランド文化を考える** 佐久間淳一（文学部・人文学研究科／言語学）	ムーミンはどこが舞台でしょうか。もちろん答えはムーミン谷ですが、フィンランドの風土を背景にしていることも確かです。一方で、ムーミンの原作はフィンランド語ではなく、スウェーデン語で書かれています。これは一体どういうことなのでしょうか。この講義では、ムーミンを通して、フィンランドの文化、そして、言葉と社会の関係について考えます。

視覚文化探究講座

定員：25名　申し込み締め切り：7月31日（火）

会場：名古屋大学情報学部SIS スタジオ

現代は、視覚文化の時代です。写真、映像、アニメ、ゲーム、TV、インターネット、SNSと、とんでもない量の情報が、ひっきりなしに目に飛び込んできます。私たちは、それらを日々受信し、理解し、そして発信しながら生活しています。この講座では、視覚情報について知り、ヴィジュアル（視覚）を通してどのような思考ができ、また役に立つのか、講義とワークショップを通して体験し、考えていく機会を提供します。

1	8月8日（水） 10:00–12:00	**見て、比べて、発見しよう** 遠藤麻里（広島国際学院大学情報文化学部デザイン学科／電子社会デザイン）	いつも見ている風景は、かつてはどうだったでしょうか? 写真と実際の風景を見比べて、どう変わったのか、良くなったのか悪くなったのか、そしてそれは何故なのかを考えるワークショップです。いつもの風景の中に新しい何かを発見しましょう。
2	8月8日（水） 13:00–15:30	**データにヴィジュアルをつけよう** 定國伸吾（静岡理工科大学情報学部コンピュータシステム学科／ユーザーインターフェイス）	私たちは、生活空間に溢れる各種の情報機器を通じて、さまざまな情報を目にしています。これらの情報の多くは生のデータではなく、用途に応じてヴィジュアル化されています。このワークショップでは、データにヴィジュアルをつける体験をし、身の回りのヴィジュアルの意味について考えます。
3	8月9日（木） 10:00–12:00	**絵を描いてみんなで絵で考えよう!** 鈴木宣也（情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科／インタラクションデザイン・ヴィジュアルリテラシー）	みなさんは言葉だけで考えていませんか? また、絵を描くのもじっくり考えすぎていませんか? 絵を描いて考えると、自分の考えの整理に役立ったり、他の人と一緒に考えたりできるようになります。ヴィジュアル（視覚）で考えることを試してみましょう。
4	8月9日（木） 13:00–15:30	**写真文化を学ぶ、スマホで人を撮る** 茂登山清文（名古屋芸術大学芸術学部芸術学科／視覚文化・ヴィジュアルリテラシー）	スマホは思っている以上に写真撮影にも使えます。200年になろうとする写真の文化を、人を撮るという視点から学び、発売してやっと10年で私たちのなくてはならないツールとなったスマホで人を撮ってみましょう。

＜SSH講座・開講前アンケート（附属生用）＞

「学びの杜・学術コース」物理学探究講座・事前アンケート

クラス	出席番号	性別	氏　　名
		男　・　女	

このアンケートは、講座の開講にあたり、参加者の皆さんにお聞きするものです。結果は、講座を改善する際に参考にし、他の目的には使用いたしません。

<table>
<tr><td rowspan="6">問 1</td><td colspan="3">【受講動機について】
●この講座を受講しようと思った動機は何ですか。以下の選択肢から当てはまる項目の<u>番号をすべて〇で囲んでください。</u></td></tr>
<tr><td colspan="2">1. 講座の内容に興味・関心があるから</td><td>6. 友達が参加するから</td></tr>
<tr><td colspan="2">2. 大学での専門的な学びを体験したいから</td><td>7. 学校で単位が認められるから</td></tr>
<tr><td colspan="2">3. 将来の進路選択の参考にしたいから</td><td>8. AO 入試、推薦入試に役立つから</td></tr>
<tr><td colspan="2">4. 先生に勧められたから</td><td rowspan="2">9. その他（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">5. 家族に勧められたから</td></tr>
<tr><td rowspan="2">問 2</td><td colspan="4">【進路について】
●あなたは、自分の将来について考えますか。以下の選択肢から当てはまる項目の<u>番号を１つだけ〇で囲んでください。</u></td></tr>
<tr><td>1. よく考える</td><td>2. 時々考える</td><td>3. あまり考えない</td><td>4. 全く考えない</td></tr>
<tr><td rowspan="3">問 3</td><td colspan="3">●現在、自分の将来についてどのようなことを考えていますか。学びたいこと、就きたい職業について自由に書いてください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【学びたいこと】</td><td>【就きたい職業】</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">問 4</td><td colspan="3">●高校卒業後はどのような進路を希望していますか。以下の選択肢から当てはまる項目の<u>番号を１つだけ〇で囲んでください</u>。</td></tr>
<tr><td colspan="2">1. 名古屋大学</td><td>4. まだ決めていない</td></tr>
<tr><td colspan="2">2. 名古屋大学以外の 4 年制大学</td><td rowspan="2">5. その他（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">3. 短期大学・専門学校</td></tr>
<tr><td rowspan="3">問 5</td><td colspan="4">●あなたは、自分の将来のために、何か具体的な体験や学習に取り組んでいますか。以下の選択肢から当てはまる項目の<u>番号を１つだけ〇で囲んでください</u>。また、取り組んでいることがあれば書いてください。</td></tr>
<tr><td>1. よく取り組んでいる</td><td>2. 時々取り組んでいる</td><td>3. あまり取り組んでいない</td><td>4. 全く取り組んでいない</td></tr>
<tr><td colspan="4">【取り組んでいること】</td></tr>
</table>

＊裏面に続きます

1

問6	【物事に取り組む意欲について】 ●次のようなことについて、あなた自身はどの程度あてはまりますか。それぞれの項目で、**あてはまる番号を１つだけ〇で囲んでください。**				
	項目	とても あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	ぜんぜん あてはまらない
	①入学時よりも、将来の職業や進路など自分のことは自分で決めようと意識するようになった。	1……2……3……4			
	②入学時よりも、自分で考えたり行動したりするようになった。	1……2……3……4			
	③入学時よりも、学習に対して意欲的に取り組めるようになった。	1……2……3……4			
	④入学時よりも、自分の意見を発言できるようになった。	1……2……3……4			
	⑤入学時よりも、うまくいかないことや失敗することがあっても、ねばり強く取り組めるようになった。	1……2……3……4			
	⑥入学時よりも、職業や進路に関心を持つようになった。	1……2……3……4			

問7	【講座と学校の教科・科目】 ●あなたの好きな、嫌いな、また得意な、不得意な教科や科目を教えてください。**下の欄から選び、その番号を書いてください。**あてはまるものがなければ**「なし」**と記入して下さい。			
	好きな教科・科目：1位【　　】2位【　　】		得意な教科・科目：　1位【　　】2位【　　】	
	嫌いな教科・科目：1位【　　】2位【　　】		不得意な教科・科目：1位【　　】2位【　　】	
	①国語、②日本史、③世界史、④地理、⑤公民、⑥数学、⑦生物、⑧物理、⑨化学　⑩保健体育、⑪芸術、⑫英語、⑬家庭、⑭総合学習(総人)、⑮情報、⑯SS 課題研究Ⅱ(S1、S2 の STEAM)			
問8	●あなたは、この講座を受講することについて、現在、どのような気持ちですか。以下の選択肢から当てはまる項目の**番号を１つだけ〇で囲んでください。**			
	1. とても期待している	2. やや期待している	3. あまり期待していない	4. 全く期待していない
問9	**●問8で1～2を選んだ人のみ答えて下さい。**この講座を受講するにあたり、具体的にどのようなことを期待していますか。自由に書いてください。			

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

＜SSH講座・ワークシート＞

日付　　月　日
講師　　先生

2018 年度　学びの杜・学術コース

○○学探究講座「ワークシート」○

クラス	出席番号	性別	氏　　名
		男　・　女	

受講前　受講前にリーフレットに掲載されている講義の内容を読み、興味を持ったことやキーワードを取り上げ、その内容を調べてください。調べる方法は、本でもインターネットでも、何でも構いません。

講　議　名	
興味を持ったこと・キーワードなど	
＜調べたこと＞	

講義メモ欄　＊講義のメモ欄として使ってください。

＊受講後、裏面のアンケートに記入してください。

日付　　月　日
講師　　先生

2018 年度　学びの杜・学術コース

○○学探究講座「ワークシート」○

クラス	出席番号	性別	氏　　名
		男　・　女	

受講前　受講前にリーフレットに掲載されている講義の内容を読み、興味を持ったことやキーワードを取り上げ、その内容を調べてください。調べる方法は、本でもインターネットでも、何でも構いません。

講　議　名	
興味を持ったこと・キーワードなど	
＜調べたこと＞	

講義メモ欄　＊講義のメモ欄として使ってください。

＊受講後、裏面のアンケートに記入してください。

＜事後アンケート（附属生および修了証授与対象者用）＞

「学びの杜・学術コース」地球市民学探究講座・事後アンケート

クラス	出席番号	性別	氏　　名
		男　・　女	

一定回数講義に出席している受講者には「修了証」と「受講証明書」を発行します。「受講証明書」には「生年月日」を記載しますので、下記にあなたの生年月日を記入して下さい。

あなたの生年月日　：西暦　　年（平成　　年）　　月　　日

このアンケートは、講座終了にあたり、参加者の皆さんにお聞きするものです。結果は、講座を改善する際に参考にし、他の目的には使用いたしません。

問 1	【きっかけについて】 ●あなたが、「学びの杜・学術コース」を知ったきっかけを教えてください。以下の選択肢から当てはまる項目の**番号を全て〇で囲んで下さい。（複数選択可）**			
	1. リーフレットを見て知った			
	2. ポスターを見て知った			
	3. WEB ページを見て知った			
	（1）名古屋大学の WEB ページ	（4）名古屋大学の各学部・研究科の WEB ページ		
	（2）高大接続研究センターの WEB ページ	（5）「あいちサイエンスコミュニケーション」の WEB ページ		
	（3）「あいちの学校連携ネット」の WEB ページ	（6）その他の WEB ページ （　　）		
	4. SNS での告知で知った			
	（1）名古屋大学の Face Book	（2）名古屋大学の Twitter	（3）名古屋医大学工学部の LINE	
	5. 先生の勧めで知った			
	6. 知人・友人の勧めで知った			
	7. その他（　　）			
問 2	【講座を終えて】 ●受講前に期待していた通りの内容でしたか。以下の選択肢から当てはまる項目の**番号を 1 つだけ〇で囲んでください。**また、その理由も書いてください。			
	1. とても期待通りであった	2. やや期待通りであった	3. あまり期待通りでなかった	4. 全く期待通りでなかった
	【理由】			
問 3	●講座の内容は理解できましたか。以下の選択肢から当てはまる項目の**番号を 1 つだけ〇で囲んでください**。			
	1. とても理解できた	2. やや理解できた	3. あまり理解出来なかった	4. 全く理解出来なかった
問 4	●この講座を受講したことで、大学での学びへの興味・関心は高まりましたか。以下の選択肢から当てはまる項目の**番号を 1 つだけ〇で囲んでください。**			
	1. とても高まった	2. やや高まった	3. あまり高まらなかった	4. 全く高まらなかった
問 5	●この講座に意欲的に取り組むことが出来ましたか。以下の選択肢から当てはまる項目の**番号を 1 つだけ〇で囲んでください。**			
	1. よく取り組めた	2. やや取り組めた	3. あまり取り組めなかった	4. 全く取り組めなかった

1

問6	●この講座を終了して感じたことに当てはまる項目の**番号を１つだけ○で囲んでください。**				
	項目	とても そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
	①こういう学問領域があることを初めて知った	1・・・・2・・・・3・・・・・4			
	②1 つの研究には幅広い知識が必要だと思った	1・・・・2・・・・3・・・・・4			
	③研究の方法を知ることができた	1・・・・2・・・・3・・・・・4			
	④課題研究を行う際の参考になった	1・・・・2・・・・3・・・・・4			
	⑤高校での学びと大学での学びのつながりについて考えるきっかけになった	1・・・・2・・・・3・・・・・4			
問7	【進路について】 ●この講座を受講したことは、あなたの将来の進路選択の参考になりましたか。以下の選択肢から当てはまる項目の**番号を１つだけ○で囲んでください。**　またどのようなところが参考になったのか、あるいはならなかったのか、具体的にあれば書いてください。				
	1. とても参考になった	2. やや参考になった	3. あまり参考にならなかった	4. 全く参考にならなかった	
	【参考になったところ・参考にならなかったところ】				
問8	●高校卒業後どのような進路を志望しますか。以下の選択肢から当てはまる項目の**番号を１つだけ○で囲んでください**。				
	1. 名古屋大学	4. まだ決まっていない			
	2. 名古屋大学以外の 4 年制大学	5. その他（　　）			
	3. 短期大学・専門学校				
問9	●受講したことで、自分の将来のために、新たに取り組もうと思ったことはありますか。あれば、具体的に書いてください。				
問10	【物事に取り組む意欲について】 ●受講前と比べて、あなた自身はどれにあてはまりますか。それぞれの項目であてはまる**番号を１つだけ○で囲んで下さい。**				
	項　目	とても そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない
	①受講前よりも、将来の職業や進路など、自分のことは自分で決めようと意識するようになった	1・・・・2・・・・・3・・・・・4			
	②受講前よりも、自分で考えたり，行動したりするようになった	1・・・・2・・・・・3・・・・・4			
	③受講前よりも、学習に対して意欲的に取り組めるようになった	1・・・・2・・・・・3・・・・・4			
	④受講前よりも、自分の意見を発言できるようになった	1・・・・2・・・・・3・・・・・4			
	⑤受講前よりも、うまくいかないことや失敗することがあっても、ねばり強く取り組めるようになった	1・・・・2・・・・・3・・・・・4			
	⑥受講前よりも、職業や進路に関心を持つようになった	1・・・・2・・・・・3・・・・・4			

＊裏面に続きます

問 11	【学びの杜・学術コースについて】 ●「学びの杜・学術コース」で、改善して欲しいところ等、要望はありますか？あれば、具体的に書いてください。
問 12	【講座全体について】 ●最後に、受講して考えたこと、面白かったこと、印象に残ったこと、疑問に思ったことなどを自由に書いてください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

＜事後アンケート（SSH講座以外）＞

2018「学びの杜・学術コース」人文学探究講座・事後アンケート

アンケートにご協力お願いいたします

このアンケートは、講座終了にあたり、参加者の皆さんにお聞きするものです。結果は、講座を改善する際に参考にし、他の目的には使用いたしません。

＊よろしければ、学校名、学年、お名前を記入して下さい。

学　校　名	学年	氏　　名
	年	

該当する項目の番号に○をつけてください。

Q1. あなたが「学びの杜・学術コース」を知ったきっかけを教えて下さい。**（複数選択可）**

1．リーフレットを見て知った

①学校での配布、掲示　②河合塾での配布、掲示　③その他（　　）

2．ポスターを見て知った

3．WEB ページを見て知った

①名古屋大学の WEB ページ　②高大接続研究センターの WEB ページ

③「あいちの学校連携ネット」の WEB ページ　④各学部・研究科の WEB ページ

⑤「あいちサイエンスコミュニケーション」の WEB ページ　⑥その他（　　）

4．SNS やメルマガでの告知で知った

①名古屋大学の Face Book　②名古屋大学の Twitter　③名古屋大学工学部の LINE

④「あいちサイエンスコミュニケーション」のメルマガ　⑤その他（　　）

5．先生の勧めで知った　6．知人、友人の勧めで知った　7．その他（　　）

Q2. あなたがこの講座もしくは講義を受講しようと思った動機は何ですか？**（複数選択可）**

1．講座・講義の内容に興味・関心があるから　2．大学での専門的な学びを体験したいから

3．将来の進路選択の参考にしたいから　4．先生に勧められたから

5．家族に勧められたから　6．友達が参加するから　7．学校で単位が認められるから

8．AO 入試、推薦入試に役立つから　9.その他（　　）

Q3. 講義の内容は理解できましたか？

1．よく理解できた　2．やや理解できた　3．あまり理解できなかった　4．全く理解できなかった

Q4. 受講したことは、あなたの将来の進路選択の参考になりましたか？

1．とても参考になった　2．やや参考になった　3．あまり参考にならなかった　4．全く参考にならなかった

Q5. 上の Q4 での回答に関して、どのようなところが将来の進路選択の参考になりましたか？もしくは参考にならなかったですか？あれば、具体的に書いてください。

［　　］

＊裏面に続きます

Q6. 高校卒業後はどのような進路を志望していますか？

1．名古屋大学　2．名古屋大学以外の４年制大学　3．短期大学・専門学校　4．まだ決めていない

5．その他（　　）

Q7.「学びの杜・学術コース」で、改善して欲しいところ等、要望はありますか？あれば、具体的に書いてください。

Q8. 最後に、受講して考えたこと、面白かったこと、印象に残ったこと、疑問に思ったことなど、自由に書いてください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。